

いっしょに語ろう、もっと話そう。

2012

# 信頼

Vol. 58

中部大学後援会会報

座談会

学生支援戦略の考え方

～総合的な学生支援を目指して～

特集：中部大学白書2012

保護者のための

すぐわかる

中部大学のいま





特集：中部大学白書2012

# 保護者のための すぐわかる 中部大学のいま

近年の時代の流れとともに変化する大学の状況。

中部大学もここ数年で新たに学部学科や施設が増え、環境も日々変化しています。

また大学は、高校生活と違い、自分自身で考え判断し、行動する機会が多くなる分、

保護者の皆様にも知っておいていただきたいことが多々あります。

学生生活により良いアドバイスができるようにぜひご一読ください。





## 中部大学ならではの教育システム。

専門分野の深い知識・技術と、幅広い視野や柔軟な応用力を併せ持った人。現代社会が求める「専門性を備えた万能型人材」を育てる教育システムを用意しています。

■カリキュラム構成(工学部・応用生物学部の場合のモデルケース)

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全学共通教育科目 24単位以上				学部教育科目 84単位以上			
		自由科目		16単位程度			

### 全学共通教育科目

全学部に通じて、専門職業人・有識社会人として社会の諸問題を判断し解決するための、基礎的知識・素養を身につけることを目的とした科目です。

### 学部教育科目

各学科の専門分野を学ぶ科目群。演習や実験・実習など、授業スタイルも多様です。

### 自由科目

全学共通教育科目、所属学科の教育科目、他学部他学科の教育科目(一部制限あり)の中から自由に選択履修して、卒業単位に算入できます。

### 副専攻

一定の科目群の中からまとめて20単位を取得すると「副専攻」として認定され、修了証書も交付されます。

〈たとえばこんな将来が可能〉

卒業学科(専門分野)

現代教育学部  
児童教育学科 + 機械工学  
応用生物学 = (理科や算数に強い)  
小学校の先生に。

卒業学科(専門分野)

工学部  
情報工学科 + 国際関係学 = (外資系企業で活躍する)  
IT技術者に。

## ワンキャンパスに1万人。

6研究科7学部29学科のすべての在籍者数を合計すると、その数なんと10,400人\*。キャンパス内で体験できる多様な出会いが、学生一人ひとりの人間的成長を支えています。

## 基本 データ編

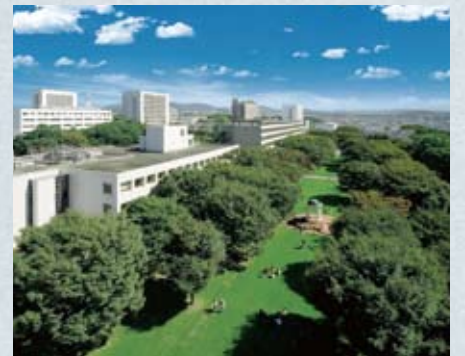
## 64,692人\*の同窓生。

製造業、サービス業、公務員など、幅広い分野で活躍中の卒業生たち。中部大学の「実学主義」は、企業から高く評価されています。

※2012年3月末現在

## 約43万㎡の敷地面積。

研究施設、実習室、講義棟、運動施設、学生食堂などの多様な施設が、東京ドーム約8.6個分の敷地面積に整備されています。

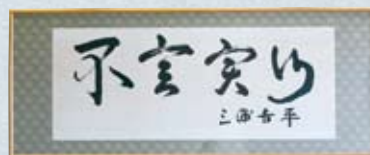


工学部	3,184人
経営情報学部	1,308人
国際関係学部	544人
人文学部	1,700人
応用生物学部	1,271人
生命健康科学部	1,336人
現代教育学部	745人
大学院	312人

※2012年5月1日現在

## 不言実行、 あてになる人間。

中部大学の基本理念であるこの言葉を信条とし、豊かな教養とともに自立心と公益心を持ち、広く国際的視野から物事を考え、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間の育成に努めています。



7学部29学科が集う  
文理融合の総合大学。

さかのぼること48年前、中部大学の前身である中部工業大学が開学したのは1964年のことでした。当時は「中部工大」の略称で呼ばれていたこと、さらに工学部を中心に発展してきたことから、今でも、工業系の大学というイメージを持たれる保護者の方は多いかもしれません。しかしその後1984年に中部大学と名称変更し、国際関係、人文学、教育系など、次々と文系学部を開設。現在では、文理融合の7学部29学科を擁する中部圏屈指の総合大学に成長しました。

そんな総合大学であることの強みを生かした教育制度として、他学部他学科の授業を受けられる自由科目や副専攻があげられます。所属学部にとらわれず、領域を越えた学びにより、興味や関心に合わせて学びの幅を広げられるこの制度を、多くの学生が活用しています。また、一つのキャンパスに全学生が集っているため、多様な夢を目指す友人との交流が生まれ、自然と幅広い視野が身につくことも大きな魅力です。



## クラブ活動で利用 「体育・文化センター」

鮮やかな人工芝が敷き詰められた2面の全天候型グラウンドのほか、4階建ての武道体育館、温水プール、野球場、テニスコート、弓道場など多彩な競技施設を整えています。



## 伝統的な和風建築

歴史と趣を伝える和風建築と、樹々が生い茂る庭園が魅力的な茶室や書院。茶道部の活動や留学生の日本文化体験などに利用されています。

## 管理栄養士の 卵が奮闘中!

応用生物学部の管理栄養士を目指す学生たちが、「給食経営管理基礎実習」の一環として、実習室にランチコーナーを開設。カロリーや栄養バランス、採算面もしっかり計算して、毎週火曜日に教職員や学生へ販売しています。



## 充実の 施設編

## 学内に本格スタジオ 「メディア教育センター」

最新鋭の視聴覚機器を駆使した学習支援施設「メディア教育センター」。映像、音響、編集のスタジオをはじめとした施設で、本格的なメディア制作技術を修得できます。

## 最新鋭のコンピュータ施設 「デジタルラボ」

3つのOS (MacOS、Windows、Linux) を搭載した8コアMacProを95台、フルハイビジョンプロジェクタ2台、7.2m×2.4mのガラススクリーンなど、最新鋭コンピュータ環境をフル活用。応用力と創造力を育てています。



充実の施設と仕組みで、  
学生を徹底サポート。

中部大学では、教育効果を高めるため、ゼミや卒業研究などで、徹底した少人数教育をおこなっています。その一方で、実践力を養成するため、多人数が同時に実験・実習を体験できる施設・設備を整備。授業への理解を深めるため、講義室には大画面のモニターを複数設置しています。また、携帯電話を利用した双方向型の授業も実施中。つねに学習効率を高める最善の方法を模索し、実現しています。

充実した施設環境は、教育面だけに留まりません。さまざまな制度や設備、システムを整えて学生生活も支援しています。インターネットにいつでもアクセスできるパソコンを設置した学生ラウンジ、バラエティに富んだメニューを安く提供している学生食堂、品数豊富なコンビニを学内各所に設置。また、自動車通学者を対象にした約1100台収容の駐車場も完備しています。さらに、修学上のことや対人関係などの悩みや心配事について相談にに応じてくれる学習相談室や、英語や数学などの基礎科目の学力アップをサ



## 留学のことなら 「国際交流センター」

海外留学のことなら、国際交流センターにまずは相談。資料も豊富にそろっており、留学情報を調べたい人にもおすすめです。



## 安否確認 緊急通報システム

災害が発生した場合、学生と教職員全員に対し、事前に登録した自宅と携帯電話の電話番号、パソコンと携帯電話のメールアドレスに一齐に安否確認の通報をおこない、それに対する回答を得ることで、被災状況を迅速かつ正確に把握するシステムです。

## どんな疑問も解決 「学習支援室」

基礎科目の学力向上を支援するために、数学・英語・物理・化学・工学基礎実験の5科目について学習相談に応じています。



## 何でも相談OK!指導教授制

学生の相談相手となり、大学生活をより有意義なものにする手助けをしてくれる指導教授制。学習・研究・就職に関することから、アルバイトや友人関係まで、大学生活全般にわたる相談に親身になって応えてくれます。

## 奨学金制度

学生の学ぶ意欲と充実した大学生活を支えるために、各種奨学金制度を設けています。大学独自の制度と、日本学生支援機構の制度などがあります。人物・学業ともに優秀な学生への給付や、経済的理由により修学に困難がある学生を支援する貸与制度など、自分にあった奨学金制度を選ぶことができます。

※申し込み説明会の詳細については、キャンパスプラザ内の奨学金掲示板にてお知らせします。

## 学生 サポート編

### 学生食堂

学内には5つの学生食堂があり、バラエティに富んだメニューを安く提供しています。ほかにもマクドナルド、イタリアントマト、スガキヤ、コンビニ、自動販売機コーナーもあり、学生の食生活をサポート。コミュニケーションの場にもなっています。



### 心の健康をサポート 「学生相談室」

学生生活を送る上でのさまざまな問題、悩み、心配事についてカウンセラーと一緒にじっくり話し合い、解決の糸口を探ります。



ポートする学習支援室など、さまざまなバックアップ体制を用意。大災害に備え、緊急時に学生の安否を速やかに確認できる安否確認緊急通報システムも導入しています。

### 入学時の早期から

### キャリアデザインを指導。

「自分は将来どんな生き方をしたいか」。中部大学では、入学当初から将来を意識できるように、学年ごとに指導教員を配置し、キャリアデザインを指導・支援しています。学部1年生には、初年次教育「スタートアップセミナー」とキャリア教育科目「自己開拓」を全学一斉におこない、学部2年生には全学共通教育科目「社会人基礎知識」を開講。しっかりとした職業観と高いコミュニケーション能力をはじめ、変化に対応できる柔軟性、コンピュータスキルや語学力などを備えた「求められる」人材を輩出するため、きめ細かな指導をおこなっています。単に就職に関する指導をするだけでなく、「生き方」と「働くこと」についてじっくり考えてもらうために、4年間を通じてキャリア開発（P13参照）を支援しています。



# 大学と近い距離に立ち、 学生たちを サポートしていきたい。



中部大学後援会長 **小澤 寿行**  
おざわ としゆき

この度、宮田会長の後を引き継ぎ、会長に就任いたしました小澤です。謹んでご挨拶を申し上げます。

大学の主役である学生たちが、充実した学生生活を送ることができるよう、全面的に支援していくことが後援会の主題です。私は中部大学のOBで、今年から非常勤講師として講義も担当させていただきました。中部大学を日頃から近くに感じています。しかし、保護者の皆さまはそうでない方がほとんどではないでしょうか。そんな皆さまにとっては、後援会からの案内や会報誌などが、大学を知る上での頼りになると思いますが、お子様の在籍中に、ぜひキャンパスへ足を運ぶことをおすすめします。卒業間際ではなく、できる限り早い時期に行っていたことで、学習環境について新たな発見もあるはずです。このように大学との距離

を縮めていく機会を積極的につくっていくことも、我々役員の役割だと思っています。

昨今では、就職活動にも親の支援が求められています。もちろん親のエゴではありませんが、親としての意見を子どもへしっかりと伝え、あくまで聞く側に立つべきです。そんなときのために日頃から相談しやすい環境づくりも大切です。「父母との集い」をはじめ、保護者の方にご参加いただける行事をいかに広められるか、大学との接点を持つ機会をいかにつくっていくか、大学の先生方と協力していきたいと思えます。日本経済もまだまだ厳しい状況が続きますが、学生のために、そして大学のために、皆さまとともにサポートしていく所存です。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

# 四年間の教育で 景気変動に左右されない 社会人の養成を目指します。



中部大学学長 **山下 興亜** 先生  
やまた ますた

中部大学後援会の皆さまには、日頃よりキャリア就職支援に対する援助をはじめとしたさまざまなご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

大学の近況報告を簡単にさせていただきます。大学は勇氣と希望を持つ多様な若い人材を社会へ円滑に送り出す使命を持つ公的な機関です。このために本学はたいま開学50周年に向けていろいろな改革を進めています。その一つとして、昨年度の一年間をかけて「ディプロマ戦略」を練り、大学教育において生涯教育（キャリア教育）や職業教育をどのように位置付け発展させるか、そしてすべての学生が卒業時には社会的にまた職業的に自立し、自ら望む職業での労働を通して社会の持続的な発展に参加する人間力を養う方策を明らかにしました。そ

の骨子は、入学時からの四年間に渡って「学習」する習慣を身に付け、変化の激しい時代を生き抜く強靱な高度専門職業人を育てることです。そのために三つのスローガンを掲げました。一つは百パーセントの卒業支援、二つは百パーセントの就職実現、三つは卒業後の活動評価による教育の改善です。この実現には

学生、教員、保護者が三位一体となって取り組む必要があります。私は、保護者の皆様に学外の客員教授になつていただき、教授としてご指導いただくことをお願いします。大変厳しい時代ではありますが、時代を超えて社会が求める大学教育の大道を進めば、世の中の景気の良し悪しなどに左右されない人材育成ができると思っています。ご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



CONTENTS

信頼

Vol. 58



表紙／経営情報学部 経営会計学科2年 丹羽 小彬さん(左)  
現代教育学部 児童教育学科3年 梶田 明里さん(右)

特集：中部大学白書2012

# 保護者のための すぐわかる 中部大学のいま

P.01

座談会

## 学生支援戦略の考え方

～総合的な学生支援を目指して～

P.07

東海トップクラスの就職率を実現  
キャリア支援

P.13

父母インタビュー  
大学生を持つ親の気持ち

P.39

1年目の今だから伝えたい！  
先輩からのメッセージ

P.17

学生インタビュー  
いまも心に残るあの言葉。

P.45

Close Up  
クラブ&サークル

P.19

平成24年度中部大学後援会  
「役員会・評議員会」報告

保護者の皆さまにお願いしたい  
就活サポート

P.23

平成23年度事業報告／平成24年度事業計画／  
平成24年度後援会役員・評議員名簿／後援会会則

P.47

Year Album 2011～2012

P.24

Information  
施設利用&イベント開催のご案内

P.50

学科&ゼミ紹介

P.28

My Campus Life

P.51

ボランティア・NPOセンター活動報告

P.32

最新ニュース  
News & Topics

P.53

チャレンジ・サイト活動報告

P.35



国際交流支援 ～世界とつながる中部大学～

P.37

# 座談会

日時：2012年6月26日（火）  
場所：中部大学 第2小会議室

# 学生支援戦略

## の考え方

総合的な学生支援を目指して



今年度より、学生支援のあり方を多面的に検討し、学生の自主的な成長力を促すことを目的とした

「学生支援戦略室」を開設しました。

戦略室の中心となる学生部、教務部、

そして新設を予定している学生支援センターへの想いとともに、

学生支援について語っていただきました。

### 学生支援の 意義と可能性

**三浦** 本日は、お集まりいただきありがとうございます。本学はこの度、これまでに進めてきた教育改革を活かすため、「学生支援戦略室」を開設いたしました。この学生支援戦略の考え方や今後の展望、あるいは保護者の皆様にとどのような支援を期待したいかを語っていただき、教育改革のさらなる充実に図りたいと考え、座談会を開催いたします。

それでは、学生支援についてどのように考えておられるかを、まず学生部長からお願いします。  
**栗濱** 学生支援戦略に取り組

むにあたり、まずは我々が学生を見る視点を少し変えてみるのが大切だと思います。例えばアルバイトについて、今まではなるべく自粛して勉強に精を出しなさい、という視点での教育指導が多かったように思いますが、学生にはやはりアルバイトが必要なのだらうな、という経済的支援の視点も取り入れてみることで、そのような視点に立つことで、大学と付き合いのある企業や、キャリアセンターを通じて幸友会会員企業（P15参照）の方にアルバイトを紹介していただき、むしろアルバイトをすることによって、学生に社会を経験してもらおう。自らの専門性を高めたり、コミュニケーションスキルを磨いてもらおう。





ただ生活費や交際費を稼ぐための手段としてではなく、小さなインターンシップのような考え方でサポートしていく方法もあるのではないのでしょうか。

また、住環境の整備について新しい視点を取り入れてみることも、面白いと思います。例えば、UR都市機構などと提携をすることで、学生がシェアリングをして生活できる環境を整える。シェアリングをすれば、その分、家賃や光熱費の負担は少なくなり、それによって今度

は、その学生たちが地域に貢献していく流れができれば、学生にとっても地域にとっても非常にいいものになると考えています。

**三浦** それ以外に、例えば退学者や休学者の問題についてはいかがでしょうか。出席率の悪い学生に対しては指導教授がフォローしていますが、中には大学に来ない学生もいます。そこまでは先生方が面倒を見切れない部分もありますので、学生部で考えていることがあります。ご紹介ください。

**栗濱** やはり退学者や休学者を減らしていくことは、重要な課題の一つです。その点については教務部が分析していますので、学生部はサポートする形で動いていますが、指導教授からも連絡がつかない学生たちに対して、何とか連絡をとる方法を

模索していきたいと考えています。こちらから連絡をとって、先生という立場ではなく、人生の先輩として話をする。とにかく一度大学へ来てもらって、そこからうまく指導教授の先生に繋

げていければと思っています。

**三浦** 学生部としては、そこまでの取り組みは初めてのことで、すし、かなり大変な仕事になると思います。いろいろ検討した中で、踏み込んでおこなわなければならぬ必要性も出てきたのでしようね。続いて教務部長から、具体的に考えていることをお話いただきたいと思います。

**大西** 学生支援は学生部、教育・授業関係は教務部という従来の区分けではなく、学生部と教務部が一体となって学生支援をやっていくかなければならないことを昨今、強く感じるようになってきました。私は、教務部長

になる以前から教育改革の委員会に関わっていたのですが、その中で学部学科の先生方から強く上がっていたのは、「SA(スチューデントアシスタント)」を導入したいという声でした。これは大学教育全体の問題でもあります。先生方は目の前の学生の学力が落ちていくことに危機感を抱かれており、学習面をサポートする意味でSAを導入したいと言われていたのです。

本学では元々、大学院生が教員の授業を補助するTA(ティーチングアシスタント)を実施していますが、SAは大学院生ではなく、より受講者に年齢の近い学部生、しかもただ単に学習面で先生方が教え切れないところをサポートするのはなく、受講者の横に座って、同じ立場、同じ目線で学習をサポートしていく、という考えのもと進めてきました。そうした意味合いでSAを捉えますと、これは教育支援だけでなく、学生支援の意味合いが強いのではないかと思います。

学内における現在のSAの実施状況ですが、昨年の春学期に試験的に実施しまして、本年度から春と秋に本格実施することになりました。SAの強みは、「教えること」と「教わること」の両方の視点を併せ持つため、学生と教員との橋渡しができることです。つまりSAは、単に授業をサポートするだけでなく、中部大生の学力や学習意欲を高めていくための大きなパワーになる可能性を秘めて

いると思います。今後は授業外にも、SA制度を広めていくことを検討していきます。

**三浦** では次に、長年、学生部長と教務部長を歴任された山田先生に、大学全体の問題も含めて、お話し願います。

**山田** 学生部長と教務部長から、それぞれ学生生活の面、あるいは授業面での支援の話が出ましたが、大学生活にはさまざまな側面があります。現在は正課の授業のみならず、4年間で「人間を育てる」ことが必要とされ、本学も建学の精神である「**不言実行 あてになる人間**」の育成・輩出を目指しています。しかし、21世紀に入りまして、大学の進学率は50%を超え、いわゆる「大学の大衆化」が始まりました。我々教員としては、正課・課外以外に、学生のしつけの問題も避けては通れない状況となり、大学生活全体に対しての支援が求められていると感じています。この度、開設した学生支援戦略室のコンセプトは、「**学生一人ひとりを元気にしよう**」というものです。学生自身

が元気でなければ、楽しい学生生活は送れませんし、勉強にも身が入りません。ですから、まず元気な学生を育てるためにはどういった支援をしていけばよいか、ということに重きを置いています。

学長がよく「**保護者の皆様は客員教授**」と言われていますが、大学の先生が見ているのは学生の表側の部分ですので、彼らが小さいうちから裏の部分もよく見ておられる保護者の皆様

の力もお借りしながら、いつしよになつて育てていきましよう、ということなんです。そうした支援を保護者の皆様にも是非お願いいたします。

また学内においては、さらに**学生たちが元気に活躍できるような活気あるキャンパスづくり**をおこなっていききたいと思えます。現在、クラブ活動をしている学生は全体の4分の1強。本学には約1万人の学生がおりますので、25000〜30000人ほどもです。70000人を超える残りの一般学生も含め、学生がもつと利用したいと思える施



〈学長補佐〉  
やまだ きみお  
**山田 公夫**先生  
工学部 都市建設工学科教授  
学生支援戦略室副室長

まして、その対応も日々こなわなければなりません。例えば、奨学金の説明会なども一度におこなえる施設があると、我々にとつても学生にとつても非常に便利だと思います。

それから、先ほど山田先生が仰っていました、学生同士のコミュニケーションをもつと深められるようなサポートも必要です。サークルに所属している学生などは、現在も有効に利用しているとは思いますが、もう少しわかりやすく楽しめる施設があるといいかと思えます。また、学生が授業外でさらに学びを深められるような場所があつてもいいかもしれません。

設や、コミュニケーションを深めることができるスペースをつくっていくことが必要だと考えています。そのために、この学生支援戦略室の役割は非常に大きい。いまあるさまざまな施設をさらに有効利用していくことも含め、ソフトと同時にハード面の整備も進めていきたいと思っています。

## 学生のための 学生支援センターを

**三浦** いまハード面のお話が出ましたが、中部大学が50周年を

迎える2年後に「**学生支援センター**」の開設を検討中です。そこで今度は、そうしたハードの面でどういった設備があるとよいかなど、ご意見をいただければと思います。

例えば金沢工業大学には、夜間学習をする学生のために、一人ひとりのIDカードで利用できる部屋が用意されているようで、それが大学の一つの特徴となつていようです。テスト前の時期や、日々研究で忙しい学生にとつては、自宅以外にそのような集中して勉強できるスペース

ありますが、続いて奨学金についてですが、現在、日本学生支援機構の奨学生だけで30000人ほどおり

がある、非常に重宝されると思いますね。





〈学生部長〉  
くりはま ただし  
**栗濱 忠司**先生 工学部 電子情報工学科教授

**三浦** 先生方も一度学内を見

て回りながら、ここはこうするともっとよくなるのではないかと、ここに行けばいいと思います。あるいは、学生の意見を聞いてみても面白いですね。では続いて教務部長から、ハード面で気がついたことや考えなどがありましたらお願いします。

**大西** 先ほどお話ししましたSAによるサポート、また学生がお互いにサポートし合って学習やさまざまな活動をしていく際に、その中心となる役割がハードウェアとしての学生支援セ

ンターに求められると思います。

例えばSAによるサポートを授業外でもおこなうようになる、ここに行けばいい、SAのサポートを受けられるという「SAステーション」とでもいうべき場所が必要です。

学生支援センターがハードウェアとしてできあがったときには、1階の目立つところに、是非そういうスペースを用意していただければと思います。また、その外側には自習のためのラーニングスペースが欠かせませんし、先ほど山田先生や栗濱先生が仰られたような、いわゆるコミュニティ

ケーションスペースも必要になります。そしてそれぞれのスペース

が独立していながらも、その間が緩やかに繋がっていることが重要です。ちよつと敷居が高く入りづらいなというものではなく、ここにいたらなんとなく向こうにも行ってみようかな、と思えるような空間。それでいて、各スペースがはつきりと分かれていたレイアウトを是非考えていた

かかると思いますが、例えばSAステーションも本拠地は学生支援センターにあつて、各学部

皆様に對する成績通知の方法も新しく検討されていますよね。

その考え方も、ご披露いただけますでしょうか。

さらには学内の各所にサテライトを設けますと、より有意義なものになると思います。時間はかかると思いますが、例えばSAステーションも本拠地は学生支援センターにあつて、各学部

システムとして運用していきたいと考えていますが、まずは第一段階として、紙ベースでできることからスタートさせました。

保護者の皆様に対してお届けするのはもう少し先になりますが、お子様の学修状況がより詳しくわかるものに改めていき

たいと思っています。しかし、そこに至るまでには、大学として責任あるものをお出ししなければならぬため、大幅なシステム変更も必要です。もう少々お時



にサテライトのステーションを設置する。その中にラーニングスペースなども隣接させると効果的です。また昨年、図書館が新しくなり、ラーニングコモンズとして非常によい役割を担っています。ですから図書館も、学生支援のサブセンターのような位置づけで扱っても面白いと思います。

**三浦** 実はもう一つお伺いしたいことがあるのですが、保護者の

共



〈教務部長〉  
おおにし なおゆき  
**大西 直之**先生 工学部 機械工学科教授

間をいただくことになると思いますが、是非とも推進していきたいと考えています。

**三浦** いろいろな話題が出てきましたが、ここでディプロマ戦略に関連することで動きがありましたら、山田先生からご紹介をお願いします。

**山田** ディプロマ戦略の一環としてキャリア開発委員会ができて、各学科の先生方が新規の企業開拓、それから授業等でお世話になっている企業へと向き、日頃のお礼と今後のご協力を改めてお願いする動きが始まりました。出口（就職）のところ

での先生方の意識は、確実に変わってきています。また、これまで工学部を中心とした企業開拓がほとんどでしたが、文系の学部もたくさんできましたし、そうした新たな企業開拓が進められていることで、学生たちも出口の幅が広がることに対して期待を持っています。昨年おこないましたディプロマ戦略の成果が、徐々に浸透し始めているところです。

**三浦** キャリアセンターが中心の取り組みとはいえ、ディプロマ戦略も広い意味では学生支援戦略の一つの流れに含まれると思います。是非これからはキャ

リアセンターの協力もいただきながら、学生支援戦略をおこなっていきたいですね。他には何かありますでしょうか。

**山田** キャリアセンターを含めて、学生部、教務部、そしてそれ以外の窓口が、現在はそれぞれに分散しています。そこに学生支援センターができれば、学生はワンストップサービスでさまざまな問題を解決できるという大きなメリットが生まれます。

食堂も現在は各学部に分散していますが、例えば学生支援センターの中に巨大なフードコートをつくって、学生たちが一カ所に集中して食事をとれるようになれば効率的です。また、隣にはコンビニをつくったり、ブックストアやカフェテラスなども配置することで、学生の憩いの場を増やしていけたらいいですね。さらに、先ほどお話のありました自主活動のスペースや、学習を含めたさまざまな活動を遅い時間までおこなうことができるスペースも用意できると、さらに活気が出てくることでしょう。これから、そうしたたくさんさんの

意見をお聞きし、現実的に実現可能かどうかを検討しながら、学生のためのセンター棟になるような建物をつくっていききたいと思っています。

### 保護者の皆様に期待すること

**三浦** それでは、今度は保護者の皆様に対してどういうことを期待したいかなど、保護者の皆様との関係について、お話しただけますでしょうか。

**栗濱** 本学には、学生一人ひとりが中心となり、さまざまな分野でボランティア活動をおこなう、ボランティア・NPOセンターの取り組みがありまして、現在約300人の学生がそれぞれのプロジェクトで一生懸命頑張っています。そうした学生たちが先ほどのSAのような形で中心となり、一般の学生たちを巻き込みながら活動

を広げていく方策はないかと検討中です。

また、最初にもお話ししました退学者や休学者に対するサポートについては、教務部長が非常に素晴らしい分析の方法を示されたので、学生部としても、指導教授からいただく意見書の内容をもう少し客観的な分析ができるように変更をかけていきたいと考えています。その内容に客観性が出てきますと、教務部が分析された





ものと整合性をとりながら、新しいシステムの構築へと進んでいくのではないかと思います。

しかし、先ほど「保護者の皆様は客員教授」というお話も出

ましたが、まずはお子様がそのような状況に追い込まれる前に、保護者の皆様からも気になる点がございましたら、すぐに連絡をいただければと思つてい

ます。救つてあげられること、支援できることを少しずつ考えなが

ら、やはり我々**大学側と保護者の皆様とがタッグを組んで、**

**学生支援**をおこなっていければと思ひます。

**大西** 保護者の皆様にお伝えしたいことは、お子様の**“自立”を促してほしい**ということです。お子様との接し方について悩んでいる方もいるかもしれません。

私が学生と接するときに気を付けているのは、大学生だからといって大人扱いしてはいけないし、だからといって子ども扱いしてもいけないということ。心の中

ではまだまだ未発達な子どもであると意識しつつも、大人として扱いながら自立を促してほ

しいと思ひます。サポートや支援といつても際限なく手をかけるのではなく、あくまでも社会に出るための手助けとしておこなうことが必要です。

学生支援とは何のためのものなのか、本質的なところから考えますと、それは学生の自立を促すためのものではないでしょうか。「全入時代」を迎えた大学の現状を踏まえた上で、それ

でも大学の本来のあり方である、教育面では自立した学生たち

が自ら学び、研究や社会貢献の面では教員と職員と学生とが

協働していく姿を目指す必要があります。

があります。ともに大学をつくっていく仲間であるために、学生の自立を促す支援をおこなっていく。その先に、大学教育の未来が見えてくるのではないかと

考えています。

**山田** 私が感じているのは、保護者の皆様は意外とわが子に無関心であることです。こんなに高い学費を払っているのだからちゃんと勉強しなさい、といったことをもつと伝えてよいのではないのでしょうか。そうしなければ、

なかなか学生にはわかりませんが、授業中にもよく話をしますが、いまは給料が振込ですから、お母さんがお金を払っているという感覚の子が多いです。

そのため、お父さんの存在が非常に薄いものになっています。ですから、お父さんともつといろんなお話をする機会を設けてく

ださい。自分も会社で大変だけれど頑張っているんだ、といったお話をして、親の背中を見せてあげてください。そうすることで

学生たちは、自分も頑張らなければ、と気持ちを改めることができると思ひます。お母さんか

らも、きちんとお父さんが働いて学費を払っているからこそ大学に通っていることを言葉で伝えてあげてください。

学生たちも、ご両親の存在があつていまの自分がある、という感謝の気持ち、大学で勉強できる幸せを意識してほしいと思ひ

ます。大学に通いたくても通えない人たちもたくさんいるので

す。こうして大学に通えている幸せ、恵まれている環境を十分に意識しながら、4年間を有意

義に過ごしてほしいと思ひます。

**三浦** 実はこの度、朝日新書から出版された『危ない私立大学

残る私立大学』という書籍の中で、中部大学が「主要私立大学サバイバル度ランキング」の10位にランクインしました。また、地方の無名に近い大学さえも、具体的にこういうことをおこなつて

いるから生き残れるという事例が紹介されています。是非、将来

の学生支援センターにも、このよ

うなアイデアを取り入れていくべきです。各部署で別々にしてい

る支援体制を一本にまとめて、お互いに協力し合うことで、1+

1が3にも4にもなるようなセンターをつくっていきましょう。こ

のような評価をいただいたからには、それに恥じないように我々

が力を合わせて取り組み、その結晶が学生支援センターの精神

になればいいと思ひます。本日は、どうもありがとうございます。



〈後援会事務局長〉  
みうら まさお

**三浦 昌夫**先生(司会) 中部大学学監

(株)三交クリエイティブライフ

総務部 三村様

自分に合う企業かどうかを、  
きちんと見極めてください。

弊社は合同説明会に出展しないため、こうした説明会でお話をさせていただく機会が、学生さんとの唯一の接点です。私たちが求めている人材は、行動力のある方。頭では考えていても、なかなか行動に移すことができない人が多い中、きちんと行動で表わすことができるかどうかを重視して見えています。しかし、私たち企業側が学生さんを選ぶだけでなく、学生さんが自分に合う企業を選ぶのが就職活動です。入ってから「イメージと違った」ということのないように、きちんと企業を見極めてほしいと思います。

トヨハシ種苗(株)

総務部 総務課 山川様

学内企業説明会は、貴重な機会。  
もっと積極的に質問を。

農業系の企業ということもあり、農学部 of 学生さんによるエントリーが多いのですが、実は学部にかかわらずありません。基本的に専門的な知識は必要ありませんし、むしろ重視しているのは人間性です。ですから、中部大学さんのような総合大学の学内企業説明会で、広く会社をアピールできる機会はないへん重宝しています。しかし、学生さんと接する中で残念に思うのは、質問が少なすぎる。これだけの距離感で企業の担当者と話ができるのは貴重なことですので、もっと積極性を見せてほしいと思います。

(株)エヌティーピー

総務部 落合様

苦しいときに支えてくれるのは、  
その仕事が好きだという気持ち。

近年の就職活動はインターネットが中心ですが、弊社の場合も、本来はホームページくらいでしか学生さんとの接点がありません。そうした中で、学内企業説明会は、採用活動を広げられる有意義な場であると考えています。弊社は東通グループの一員として、テレビ番組の制作をする会社。一見華やかに見えますが、実際の業務は非常に過酷です。しかし、それでも続けていけるのは、「テレビが好き」という気持ちが根底にあるからだだと思います。皆さんも是非、自分がそうした情熱を傾けられることを仕事にしてください。

# 学内企業説明会

人事担当者と直接交流

2011年度の本学の就職決定率は95.0%で、全国平均の93.6%を上回りました。その実績を支えているのは、担当教職員のきめ細やかな指導と、在学4年間を通じてのキャリア支援プログラム。本学では、就職を教育の一環として捉え、入学直後から徹底的に支援しています。

毎年2月に学内で大々的に実施する企業説明会。今年には9日間にわたって計733社の企業にご参加いただき、述べ5405名の学生が参加しました。その後も5、7、10月(予定)に、継続的に開催しました。

# キャリア支援

就職サポート  
プログラム  
(2012年度予定)

3年次

2年次

1年次

- 5月〓 ● 第1回就職ガイダンス「オリエンテーション」  
・就活手帳の配布
- 5月〓 ● 第2回就職ガイダンス「適職診断テスト」
- 6月〓 ● 適職診断テストを活用した「自己理解ワークショップ」
- 6月〓 ● 第3回就職ガイダンス
- [SPI対策模擬テスト①]

- 4月〓 ● キャリア教育科目「社会人基礎知識」
- 8月〓 ● 資格取得講座  
(簿記検定3級・販売士2級、ITパスポート、公務員試験対策講座(教養))
- 12月〓 ● 「業界研究会」卒業生と就職を語る会

- 4月〓 ● 初年次教育「キャリアアップセミナー」  
キャリア教育科目「自己開拓」
- 8月〓 ● 資格取得講座  
(簿記検定3級・販売士2級、ITパスポート、公務員試験対策講座(教養))
- 12月〓 ● 「業界研究会」卒業生と就職を語る会

※開催時期については、変更が生じる場合があります。





## (株)フジタ

中日本支社 管理総括部 総務部 小松様

### できるだけ多くの企業の 門戸を叩いてみてください。

就職活動に臨むにあたっておこなう自己分析は、これまでの自分と向き合うことができる貴重な機会。自分という人間をしっかりと見つけ、良い部分、悪い部分を把握する過程を楽しんでほしいと思います。また、行きたい業界や業種の企業のみならず、できるだけ多くの企業の門戸を叩いてみてください。「やっぱり自分はこんな仕事をしたかった」という気持ちの確認にもなりますし、逆に「苦手と思っていたことが実は合っているのかもしれない」と、思わぬ発見が得られるかもしれません。

## 参加した学生のコメント

自分には営業職は無理だろうと思いき、事務職一本での就職活動を考えていました。しかし、お話を聞いたことで、商品の魅力を伝える仕事に興味を湧かしたため、営業職も検討していきたいと思えます。

〈心理学科・女性〉

この説明会の魅力は、中部大生に興味のある企業の方が来てくださっている点に尽きると思っています。今日は、志望する業種のお話を聞きに来ましたが、それ以外も積極的に回りたいです。

〈経営学科・女性〉

私は興味のある業界や業種がたくさんあるため、やりたいことを見極めるために参加しました。内定を多くもらうことより、自分が本当に行きたい企業から内定をいただくことが目標です。

〈心理学科・女性〉

たくさんの企業から話を聞いて、自分の考えをまとめるために参加しました。お話の中で、面接や試験のポイントをアドバイスして下さった方もあり、今日は来てよかったです。

〈機械工学科・男性〉

建築業界一本に絞っての就職活動を考えています。今日は、その候補を増やすことができました。いつも通っている大学での説明会ということもあり、リラックスして臨むことができました。

〈建築学科・男性〉

企業の方との距離の近さが魅力。お話をしている中で、親近感を感じることができました。中部大生に対して、これだけたくさんの企業が興味を持ってくれていることがうれしかったです。

〈生命医科学科・男性〉

## (株)三重電子計算センター

管理本部 人事経理部 人事課 加藤様

### 負の情報に流されず、 前向きな就職活動を。

中部大学さんは、弊社にとって採用活動のターゲットとなる大学の一つですので、多くの学生さんに名前を知ってもらえること、また、実際に足を運ぶことで、大学の雰囲気や体感できることが、この説明会のメリットだと考えています。就職活動は、かつてないほどに、これからの人生を考える大切な機会。10年後20年後になりたい自分を想像し、現状を前向きに捉えてほしいと思います。就職活動を取り巻く、厳しい空気や負の情報に負けないでください。皆さんは今、とても可能性に満ち溢れた時期なのですから。

## セブン工業(株)

総務部 総務課 白田様

### 面接ではないこの機会を もっと上手に使ってほしい。

昨今の厳しい就職戦線を戦う学生ですので、礼儀やマナーなどの基本はしっかりできている印象です。しかし、逆に“就職活動仕様の自分”になってしまい、自分らしさを表現できていないようにも感じます。弊社の場合、元気さは高評価につながりますし、可能性を感じれば、説明会後の上司への報告でも後押しします。社会人でも自分らしさを出すことは難しく、学生の皆さんにそれを求めるのは酷かもしれません。でも面接ではなく、直接話せるこのような機会だからこそ、自らの強みをアピールしてほしいですね。

## 4年次

### 就職活動支援行事

- 就活個別面談会
- 面接対策講座
- 学内企業説明会

※4年生を対象として、5・7・10月に開催しています。

詳しくご紹介しています。の内容は次ページに

- 7月〓 ● 適職診断テストを活用した「業界研究会」
- 8月〓 ● 資格取得講座  
(簿記検定3級、販売士2級、ITパスポート)、公務員試験対策講座(教養)
- 9月〓 ● 第4回就職ガイダンス  
「就職活動の手続きについて」  
・進路希望票  
・今後の就活スケジュール  
・4年生による就職体験報告
- 10月〓 ● 留学生向け「就職活動支援講座」
- 10月〓 ● 第5回就職ガイダンス「履歴書ガイダンス」  
・履歴書作成のポイント、注意事項について
- 10月〓 ● 履歴書添削教室(個別対応)
- 11月〓 ● 第6回就職ガイダンス「面接ガイダンス」  
・礼儀作法や身だしなみの留意点について  
・模擬面接の実施
- 11月〓 ● 面接対策教室(集団面接)
- 12月〓 ● 第7回就職ガイダンス  
「業界研究会」卒業生と就職を語る会」
- 12月〓 ● 就職合宿セミナー
- 12月〓 ● 第8回就職ガイダンス  
「SPI対策模擬テスト②」
- 1月〓 ● 第9回就職ガイダンス  
「学内企業説明会事前ガイダンス」
- 2月〓 ● 第10回就職ガイダンス  
「学内企業説明会」

筆記対策WEB教材の利用による学習

生の現場で仕事を体験

# インターンシップ

インターンシップは、将来のキャリアを意識した実習・研修を実際の企業等で体験する制度です。本学では、学部3年生・大学院修士1年生を中心におこない、ほとんどの学部学科で正課の科目として単位が認定されています。職業観や就労意識、また卒業研究への意識を高める有効な手段として、大いに活用していただいています。

## 2012年度主なインターンシップ先

長田電機工業(株)	東海テレビ放送(株)	なごや農業協同組合
春日井商工会議所	(株)東海メディカルプロダクツ	(株)名古屋三越
木野瀬印刷(株)	トヨタカラーラ愛豊(株)	野村證券(株)
清水建設(株)	(株)名古屋観光ホテル	湯浅糸道工業(株)
住友電装(株)	名古屋市衛生研究所	



〈インターンシップA〉  
社会人として必要な基礎的知識やビジネスマナーを学びます。



〈インターンシップB〉  
企業や官公庁等で実際に研修を受け、就業意欲の向上を目指します。



2011年度参加企業(12月10日開催)

アイセロ化学(株)	愛知トヨタ自動車(株)	(株)トーエネック
佐藤食品工業(株)	(株)ジェイアル東海ホテルズ	ヤマザキマザック(株)
(株)三和化学研究所	名鉄観光サービス(株)	マスプロ電気(株)
大和ハウス工業(株)	(株)システムサーバー	リコーエレメックス(株)
(株)市川工務店	(株)TDモバイル	
(株)メイエレック	中部テレコミュニケーション(株)	

働く先輩のホンネが聞ける

# 業界研究会

卒業生と就職を語る会

志望する業界や企業の先輩や採用担当の方々に直接お話を聞くことは、企業・仕事内容の深い理解につながる貴重な機会です。本学では、就職活動が本格的に始まる3年生はもちろん、すべての在学生を対象に、ビジネスの最前線で活躍する卒業生・採用担当者との交流会を実施しています。就活本番では聞きにくいことも気軽に聞けるチャンスです。働くことへの漠然とした不安や疑問を解決する上でも重要な役割を担っています。

太い絆で結ばれた心強い存在

# 中部大学幸友会

企業による後援組織「中部大学幸友会」の存在は、学生にとっても心強い味方です。幸友会は、さまざまな分野の企業が参加している支援機関で、その法人会員数は約740社を数えます。その多くの企業に、毎年2月を実施する「学内企業説明会」にご参加いただくことで、卒業生の多くが会員企業に就職を決めています。2011年度は、217社247人が幸友会会員企業へ就職し、卒業生全体の18%を占めました。

## 幸友会就職ナビ

幸友会会員企業だけの就職サイト「幸友会就職ナビ」は、中部大学の学生と幸友会企業を結ぶネットワーク。企業の概要等を確認後、そのままエントリーできます。



## 企業ガイド

中部大学と幸友会会員企業との太い絆で結ばれた心強い情報誌。在学生には、就職活動時の企業研究をはじめ、大いに活用してほしい一冊です。



携帯に便利なB6サイズにリニューアル!



授業後に受講できる便利さが魅力

## 資格取得対策・ 公務員試験対策講座

キャリアセンターでは、積極的に視野を広げ新たな知識を吸収し、各自のキャリアアップにつなげようとする学生と公務員を目指す学生のため、大学内で受講できる資格取得対策・公務員試験対策講座を開講しています。後援会が受講料の一部を補助しているため、一般の資格専門学校よりも格安で受講できます。また、講義は多くの合格者を輩出した実績のある講師が担当。講義もわかりやすく、相談にも親身に応じます。

### ■受講までの流れ

- 1 **ガイダンスに参加**  
講座担当の講師が出席し、講座内容や検定試験の状況などを説明します。
- 2 **講座申し込み**  
受付期間中にキャリアセンターで申し込みます。授業や部活動などと日程調整の上、申し込んでください。
- 3 **講座開講**  
講座初日にテキストをお渡しします。講義室は、あらかじめ各自で確認しておきます。
- 4 **資格検定の申し込み(資格取得対策講座のみ)**  
講座内で検定申し込み方法についてご説明します。検定料は講座料とは別料金ですのでご注意ください。

早目の対策が大切です

## 筆記対策 WEB教材(無料)

多くの企業では、よりよい人材を採用するための選抜方法として、まず筆記試験である程度人数を絞り込む方法をとっています。特に、大手人気企業になればなるほど膨大な応募者への対応から、その傾向は強くなっています。「筆記対策WEB教材(インターネットによる独学)」では、企業の筆記試験で使われる割合が特に多い「SPI2・一般常識」の実力向上を目指し、中部大生用に作成しました。練習問題を繰り返し活用することで「実力」と「自信」をつけていくことが大切です。インターネットによる学習ですので、自宅からいつでも何度でも受講できます。



1泊2日の徹底就活対策

## 就職合宿セミナー

就職活動に対する心構え・知識・マナーを身につけ、自身の進路決定が納得いくものとなるように、毎年度(12月を予定)、「就職合宿セミナー」を開催しています。採用担当者やOB・OGにもご参加いただく充実の2日間は、面接や履歴書対策などのプログラムを用意。集中して取り組むことで、就職活動のポイントを短期間で身につけます。

就活生必携の一冊

## 就カツ手帳

「就カツ手帳」は、先輩方の経験やアドバイスをもとに、就職活動を成功させるためのノウハウをまとめた手帳です。3年次の就職ガイダンス(5月)で参加者全員へ配付しています。スケジュール、自己分析、企業分析など、色々書き込むことのできる、就職活動を強力にサポートする一冊です。



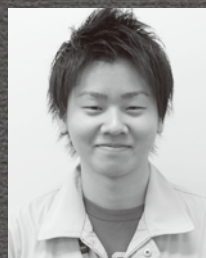
1年目の今だから伝えたい!

# 先輩からのメッセージ

## 同じ目標を目指す仲間と 情報を共有して掴んだ合格。

本格的に公務員試験の勉強を始めたのは、2月の半ば頃。早ければ1年次から準備する人もいますから、一般的には遅いスタートかもしれません。ただ、合格したから言えますが、大切なのは試験問題をたくさん解くことです。試験自体にも慣れて来ますし、傾向も見えてきます。あとは公務員志望の友人とできる限り話すこと。わからないことを聞いたり、お互いに教え合ったり、モチベーションを保つ上でも不可欠です。また、こんな企業もあるよと情報交換もできます。実は、現在の私の勤務先は、友人がインターンシップで参加した一押しの企業。面接では面接官から「あれ?友だちは受けないの?」と聞かれ、話すきっかけにもなったほどです(笑)。私が在籍していた都市建設工学科は、学生数が少ないこともありますが、先生との距離がとても近いのが魅力。名前を覚えてもらっていることはもちろん、就職活動中とはとにかく気にかけていただいたおかげで、気持ちが折れずに続けることができました。

OB's Voice 01  
公務員



〔就職先〕  
名古屋  
高速道路公社  
保全施設部 保全課

よした しょうへい  
吉田 聖平さん  
工学部 都市建設工学科  
2012年3月卒業

### 先輩へのアドバイス!

就職活動は、まず行動に移すこと。学内企業説明会には必ず参加すべきです。気持ちのスイッチも入りますし、就職活動がどういものがわかってきます。またさまざまな公務員試験を受けることも大事ですが、一般企業を受験することで、面接に慣れることができます。

### 〈知って得するワンポイント情報〉

公務員になりたい人は、土木関係が実はおすすめ。仕事の規模が大きいことが魅力の土木職は、試験倍率が比較的的低く、受かりやすいと思います。

## 先生方の“アツイ”サポートは、 第一期生だからこそそのメリット。

現代教育学部の良さを一つあげるなら、“熱くて厚いサポート体制”です。第一期生で先輩がいないため、知りたいことや疑問があれば聞くのはいつも先生。とても親身に丁寧にご指導いただきました。教育実習中は毎週指導案を見てくださり、夜遅くにメールをしても朝には返事をいただいたりと、まるで24時間サポート(笑)。また、教員採用試験対策として、実技の指導や、何度もおこなった模擬面接のおかげで、自信を持って試験に臨むことができました。さらに、とても支えられたのがメンタル面です。勉強が大変でくじけそうになっても何とか乗り越えられたのは先生方の優しく心強い言葉のおかげ。そんな先生に加えて、いま学生の皆さんには先輩がいます。採用試験の内容など、年齢が近いからこそ聞きやすいこともあると思います。先輩や後輩が共に学べる勉強会もあり、気軽に質問や要望にも応えてくれるはず。ぜひ、いまある環境を存分に活かして教員になる夢をかなえてください。

OG's Voice 02  
教員



〔就職先〕  
名古屋市長  
吉根小学校

はたの ゆうこ  
秦野 優子さん  
現代教育学部 児童教育学科  
2012年3月卒業

### 先輩へのアドバイス!

小学校教諭を目指すなら、子どもが関わっているボランティア活動に、時間がある限り積極的に参加することです。将来のイメージも湧きやすくなりますし、採用試験時の面接でも、体験をもとに話すことで説得力も増します。きっかけや動機は、外へ踏み出すことで生まれてきます。

### 〈知って得するワンポイント情報〉

名古屋市教員採用試験において、「なごや教師養成塾」の卒業生で小学校志願者は、「総合教養」「小論文」「口述試験」が免除になります。



幾度となく自分という存在に真剣に向き合った日々。くじけそうになっても前向きに学び、挑戦し続けた日々。

公務員試験、教員採用試験、国家試験、大学院入試、それぞれの道へ進むための難関をどのように乗り越えたのでしょうか。

内定(合格)を手に入れた4人の先輩にお話を伺いました。

## あきらめない気持ちがあれば、 どんな困難な道もいつか開ける。

高校生のときから、担任の先生に“絶対看護師になる”と伝えていたほど、自分の進むべき道は決めていました。その理由は、母が、そして祖母も看護師だったことが大きいかもしれません。それだけ身近に感じていた職業でしたが、看護師になるまでは遠い道のりでした。3年次の12月に体調不良でやむを得ず1年間休学し、復学は再度3年次の春から。同期生がいない心細さもありません。秋から実習が始まりました。実習は何もかもが初めてなことばかりですし、異動するたびに慣れるまで時間もかかります。帰ってきて家で辛くて泣いていたこともありましたが、母に話を聞いてもらいながら何とか乗り切りました。その後、本番直前に受けた保健師の模擬試験結果がなんと下から2番目。でも、学外の冬期講習に通った効果もあって看護師、保健師ともに合格できました。大切なのは、あきらめない気持ち。どんなに辛くても、何とか踏みとどまっていって状況は少しずつ変わっていくものです。

### OG's Voice 03 看護師



〔就職先〕  
春日井市民病院

すがわ めぐみ  
数川 愛さん  
生命健康科学部 保健看護学科  
2012年3月卒業

#### 後輩へのアドバイス!

4年次には実習に加えて卒業論文が始まり、さらに夏休みは病院から内定をいただくための就職活動。通常、国家試験の勉強に集中できるのは、内定獲得後になります。気持ちの面で焦らないためにも、可能なら、勉強はできるだけ早く始めた方がいいと思います。

#### 〈知って得するワンポイント情報〉

大学へ講師として来た東京アカデミーの方のおすすめの短期講習へ行かなかつたら、合格できなかったかも…と思うほど、国家試験に役立ちました。

## 学部での研究の続きを深め、 2年後には必ず小学校教諭へ。

小学校教諭になることが第一目標でしたので、周りの友人たちと同じように教員採用試験を受けました。しかし結果は不合格。それでも教壇に立てる可能性として、講師登録をして講師として働く道もありましたが、私は大学院への進学を選びました。その理由は3年次に研究していた「道德教育について」まだやり残したことがあったこと、また、学部長の先生から「新しく大学院をつくるけど来ないか」と声を掛けていただいたことが大きかったと思います。大学院への進学の意思は、母にはすぐ言えたのですが、父へは学費を出してもらった後ろめたさもあり、2カ月くらい伝えられませんでした。ただ、大学院で研究したい内容があることや、再度教員採用試験を受け直して、修士課程を修了してから教員になるという目標を伝えたところ、「自分が決めた道なら、口は出さない」と言ってもらえました。とてもホッとしたのを覚えています。今度の採用試験は、前回足りなかった部分を補い、準備を万端にして臨むつもりです。

### OB's Voice 04 大学院生



〔進学先〕  
中部大学大学院  
教育学研究科  
教育学専攻

すずき ゆきや  
鈴木 亨弥さん  
現代教育学部 児童教育学科  
2012年3月卒業

#### 後輩へのアドバイス!

大学院の入学試験は、筆記試験と面接です。筆記は、教育学に関する専門的知識と英語ですが、学部での授業や試験に真剣に取り組んでおくことが必須。成績によっては筆記試験が免除されることもあります。また面接では、大学院で何を研究したいのかをしっかりと伝えることが重要です。

#### 〈研究テーマ／戦後における道德教育の在り方〉

学部生時代に、先生から、東京の中学校で初めて道德の時間が生まれた当時の資料を見せてもらいました。今は小学校の道德について資料を探して研究しています。





CLOSE  
UP

# クラブ & サークル

課外活動の一環としてのクラブ・サークルは、学生生活に彩りを添えるとともに、健全な心身の育成、豊かな人間形成の場でもあります。ここでは、文化系、運動系、ボランティア系など、計60以上の中から、5つのサークルをクローズアップ。活動の魅力、やりがいなどをご紹介します。



「2011年度クラブ・サークルブログ表彰式」が今年も2月におこなわれました。1年間の投稿数やコメント数が評価され、文芸研究会が最優秀賞を、ローンテニス部が優秀賞を受賞。奨励賞には、大学祭実行委員会、トライアスロン部、鉄道研究会が選ばれ、体育・文化センター長より表彰状と副賞が手渡されました。

中部大学 クラブ・サークル ブログ [検索](#)





# 混声合唱団

一人で合唱はできない。  
楽しい気持ちをみんなで合わせて、  
一つの歌をつくり上げる。

## お互いを高め合える 関係づくり。

ソプラノ、アルト、テナー、ベースの4つのパート(女声2部、男声2部)から成る私たち混声合唱団。現在22名の団員で活動中。週に3日、出演する演奏会に向けて、歌う曲の練習をしています。最初は音取りやパートの練習から始めますが、演奏会直前には、全体で合わせる練習がメインに。本番を控えた焦りからか、上手くいかなくてピリピリムードになることもしばしば…。でも日頃は、先輩・後輩問わず仲が良く、言いたいことは伝え、お互いを高め合える関係が築けていることが団の魅力です。



## テンションを上げて、 気持ちを一つに。

今年度の団のモットーは「原点回帰」。挨拶やお礼など、できて当たり前のおろそかになっていたため、もう一度初心を思い出し、緊張感や集中力を持って取り組もうということで決まし



た。もともと歌や合唱が好きで入団したメンバーたち。自ら選んだ道を歩み始めた頃の気持ちを思い出して頑張っています。私たちがここまで技術よりも気持ちの面を重要視するのには理由があります。歌の良し悪しは気持ちによって大きく左右されるからです。みんなで心掛けているのは、辛いことや嫌なことを団に持ち込まずテンションを上げること。気持ちの切り替えを上手にできるように内面も鍛えています。

## 一年間の集大成、 歌って踊る「定期演奏会」。

私たちの団にとって一番大切な演奏会、それが毎年2月におこなう定期演奏会です。この日のために1年間頑張っているとんでも過言ではありません。自分たちで一からつくり上げる演奏会は、全部で3つのステージで構成しています。なかでも特徴的なのが、歌って踊るアトラクションステージの第2ステージ。昨年度は、AKB48の“ヘビー

ローテーション”やアニメのヒット曲を交えて5曲を披露しました。他大学の合唱団から、「踊りがハードなのに、歌もしっかり歌えていてすごいね」と言われたときはうれしかったですね。練習は辛いことも多いですが、演奏会が終わったとき、すべての苦労が大きな達成感に変わります。そんな喜びを感じた瞬間、「ああ、今年も春が来たな」って思うんです(笑)。



〈団長〉  
さとう まきこ  
佐藤 槇子さん(中央)  
応用生物学部 応用生物化学科3年

〈指揮者〉  
しばさき ともなり  
柴崎 智成さん(左)  
工学部 建築学科2年

〈副団長〉  
いのうえ はな  
井上 華さん(右)  
現代教育学部 幼児教育学科2年



## 卓球部

〈部員数 約50名〉

大切なのは、チームとしての目標設定。  
次は「1年以内の2部昇格」を目指します。

活動は、週5日間のうち4日が試合で勝つための練習、残りの1日は初心者も交えて楽しく卓球をするための日と、2つに分けておこなっています。以前は、2つの活動にメリハリがなかったのですが、昨年、選手時代に2度のオリンピック出場経験を持つ渡辺武弘先生に監督として来ていただき、競技力を向上させるための練習が効果的におこなえるようになりました。それまでも、強くなりたいという想いをそれぞれが漠然と持ってはいたのですが、具体的に「3部昇格」などの目標設定をするようになったことで、チームとして一つになれたこ

とが大きいと思います。また、昨年度からは冬に合宿を実施し、全体でおこなう練習メニューをじっくり見直すことができたほか、部員同士の絆も深めることができました。そうした成果は早速表れ、今年の春季リーグでは念願の3部昇格。今後は「1年以内の2部昇格」を新たな目標に掲げ、より上を目指して活動していきたいと思っています。



〈部長〉  
たかき だいし  
高木 大知さん(右)  
工学部 応用化学科3年

〈キャプテン〉  
まつした だいすけ  
松下 大祐さん(中央)  
応用生物学部 応用生物化学科3年

〈副キャプテン〉  
かとう ひろき  
加藤 寛規さん(左)  
工学部 電子情報工学科2年



## 女子バスケットボール部

〈部員数 約20名〉

強化指定部活となり、部員数も倍増。  
「勝てるチーム」をつくっていきます。

私たち女子バスケットボール部は、2年前に強化指定部活となり、以前は10人に満たなかった部員数も今年からは倍になりました。大学の部活動が高校までと大きく違うのは、学生が主体的に取り組む点だと思います。高校までは、どちらかと言えば監督やコーチの指示のもと活動していましたが、大学は自分たち次第。役割や責任に対する意識を強く持って、練習に取り組んでいます。中でも大切にしているのは、コミュニケーション。例えば、練習中にミスが重なって雰囲気が悪くなっているときは、プレーを止めて話し合いをし、すかさず

空気の切り替えをおこないます。先輩後輩関係なく、そうした動きができるところが、このチームの良いところ。また、部員一人ひとりが自分の努力目標を書いた紙をロッカーに貼り、いつも練習前に意識して臨むようにしています。まだ試合経験は浅いですが、限られた練習時間を有効に使い、「勝てるチーム」をつくっていきたくです。



〈副キャプテン・会計〉  
にわ こすき  
丹羽 小彬さん(右)  
経営情報学部 経営会計学科2年

てらむら けい  
寺村 恵さん(中央)  
人文学部 歴史地理学科1年

かした あかり  
梶田 明里さん(左)  
現代教育学部 児童教育学科3年





## サッカー部

〈部員数 約60名〉

チームプレーに磨きをかけ、  
一つでも多くの勝ちを掴みたい。

一昨年に2部から昇格し、現在、東海学生リーグの1部に所属している私たちは、昨年、初めて1部でのリーグ戦を経験。2部との入替戦までもつれたのちに残留できたものの、上位チームとの実力差を痛感した1年でした。特に感じたのは、組織力の差。2部リーグでは、個人技でなんとかなる試合もありましたが、1部の場合、組織として成熟していなければ、とても勝ちに繋げることはできません。また、昨年はリーグ戦の終盤になって、先輩たちが仲違いを起し、チームが分裂しかけたこともありました。そういった危機

を乗り越えてきたからこそ、改めて僕たちが大事にしたいのは、チームとしての結束です。4年生を中心にまとまって、全員が同じ方向を向いたチームをつくるのが、今後の目標。チームプレーに磨きをかけ、まずは上位のチームとも、きちんと競った試合をすること。そして、一つでも多くの勝ちを掴み取っていきたいと思います。



〈主将〉  
みずかみ ゆうた  
**水上 雄太**さん(中央)  
人文学部 心理学科4年

〈副主将〉  
たじま なおや  
**田島 直哉**さん(左)  
人文学部 心理学科4年

ふじおか みきひさ  
**藤岡 幹久**さん(右)  
人文学部 心理学科4年



## ユネスコクラブ

〈部員数 約50名〉

子どもたちとの触れ合いを通じて、  
私たちも成長していきたいです。

活動のメインとなるのは、「スクール」と呼ばれる、地域の子どもたちとの触れ合い活動。月に1回、金城学院大学と合同で名古屋市内の千代が丘団地を訪れ、子どもたちを楽しませるために、さまざまな企画をおこなっています。企画は、そのときどきの季節にちなんだテーマでおこなっているのですが、団地の子どもは、下は5歳くらいから上は12歳くらいまでと年齢層が幅広いため、みんなが飽きずに楽しめる内容での実践を心がけています。例えば最近では、「お題」に対して言葉を使わずにジェスチャーで表現し、それを見ている

人が当てる「表現ゲーム」をおこないました。子どもたちは、それぞれに心の成長具合も違うため、それに伴って苦勞することも多いですが、いろんな年齢層の子どもとの接し方を学ぶことができます。今後も、みんなが楽しく活動を続けていくことが目標。子どもたちとの触れ合いを通じて、私たちが自身も成長していきたいですね。



〈部長〉  
おおむら たつき  
**大村 竜樹**さん(中央)  
経営情報学部 経営情報学科3年

〈副部長〉  
まつお みさ  
**松尾 美沙**さん(左)  
生命健康科学部 保健看護学科3年

〈スクールリーダー〉  
おぐり たくや  
**小栗 拓也**さん(右)  
経営情報学部 経営情報学科3年





# 保護者の皆さまにお願いしたい 就活サポート

長期化する就職活動で、うまく行かないと

「自分は社会から必要とされていないのでは…」と考えてしまう学生も多く見られます。

そんなときこそ必要なのが保護者のサポート。

就職活動を通して成長し、自立していくお子様を温かく、ときに厳しく、見守ってあげてください。

1

## 就職活動費用の支援

リクルートスーツ、かばん、靴、通信費、証明写真代…。就職活動を始めるとなると、意外にお金が掛かります。遠方であれば、交通費や宿泊代も大きな負担に。ぜひご家庭で就職活動に掛かる費用の支援をお願いします。

2

## 長所探しの手伝い

就職活動の準備として必ずおこなうのが自己分析ですが、一人でおこなうと短所ばかりが目についてしまうことも。そうならないように、親の立場から、長所や仕事で活かせる能力を見つける手伝いをお願いします。

3

## 「仕事とは何か」のアドバイス

働くことには責任が生まれ、人づきあいの範囲も広がっていきます。これまでの生活と違った能力を発揮しなければなりません。仕事とは何か、どんな能力が必要なのか、職業人という立場からアドバイスしてあげてください。

4

## 考えを押し付けない

親の見栄や、自分たちが経験してきた古い価値観で、業界や会社など、進路を押し付けるのではなく、あくまでも、長所や能力に合った仕事選びのお手伝いをしてあげるとい姿勢が大切です。

5

## 過保護にならない

就職活動は社会人になるための準備です。保護者の皆様にとっても、「やるべきことは自分でさせる」という、子離れの準備期間とも言えます。親の身勝手な過保護は、自立を妨げかねません。

6

## 就職活動に関心を持つ

最近の就職事情や会社のことがわからないからと言って、無関心でいるのは問題です。就職活動の長期化などで、就活時に受けるストレスも相当なもの。常に「関心がある」という姿勢を見せ、相談に乗ることも大切です。

### 2011年度(2012年3月) 卒業生の主な就職先

#### 工学部

CKD(株)／オーエスジー(株)／サンワテクノス(株)／シーキューブ(株)／ダイダイン(株)／(株)サンヨーハウジング名古屋(株)／(株)システムリサーチ(株)／イーエネット(株)／(株)ナ・デックス(株)／ニッセイ(株)／(株)稲葉製作所(株)／(株)森精機製作所(株)／(株)大林組(株)／高砂熟学工業(株)／山九(株)／清水建設(株)／太平洋工業(株)／東海エレクトロニクス(株)／東海旅客鉄道(株)／日東工業(株)／日本空調サービス(株)／豊和工業(株)

#### 経営情報学部

サンメッセ(株)／みずほインベスターズ証券(株)／リゾートトラスト(株)／(株)アオキスーパー(株)／(株)エディオン(株)／(株)ゲオホールディングス(株)／(株)ジェイテクト(株)／(株)ジェイプロジェクト(株)／(株)セブン・イレブン・ジャパン(株)／(株)パロー／総合警備保障(株)／大東建託(株)／大和冷機工業(株)／大阪本社／中央可鍛工業(株)／Coach Japan／あいち海部農業協同組合／スガキコシステムズ(株)／セコムジャスティック(株)

#### 国際関係学部

フタバ産業(株)／ミタチ産業(株)／(株)サイカイ引越センター／いちい信用金庫／セントレード証券(株)／トヨタカラー愛豊(株)／トヨタカラー名古屋(株)／(株)たねや／三菱電機ライフサービス(株)／山宗(株)／中電興業(株)／日産プリンス名古屋販売(株)／高山市役所／三重県警察本部／防衛省 陸上自衛隊(株)／ネクステージ(株)／東産業(株)／松本テクニク(株)／地建興業(株)／理科研(株)

#### 人文学部

ソフトバンク(株)／(株)アオキスーパー／(株)エンチョー／(株)コスモス薬品(株)／(株)サイ引越センター／(株)ニチイ学館(株)／(株)王将フードサービス(株)／(株)学情(株)／(株)中広／(株)日本医療事務センター／上新電機(株)／石塚硝子(株)／大成(株)／大和冷機工業(株)／大阪本社／藤久(株)／尾張中央農業協同組合／アーク引越センター(株)／カリッ(株)／セキスイハイム中部(株)／とびあ浜松農業協同組合

#### 応用生物学部

カネ美食品(株)／プリマハム(株)／マルサンアイ(株)／井村屋グループ(株)／(株)アトム(株)／ファーストリテイリング(株)／山崎製パン(株)／日本空調サービス(株)／いび川農業協同組合／ジャベル(株)／スガキコシステムズ(株)／タマノイ酢(株)／テルウェル西日本(株)／とびあ浜松農業協同組合／トヨハン種苗(株)／ひまわり農業協同組合／フジバングループ本社(株)／めぐみの農業協同組合

#### 生命健康科学部

三重大学 医学部附属病院／長野県立こども病院／名古屋大学医学部附属病院／愛知県心身障害者コロニー／藤田保健衛生大学病院／愛知医科大学病院／名古屋市立大学病院／名古屋医療センター／江南厚生病院／総合大雄会病院／名古屋掖済会病院／春日井市民病院／小牧市民病院／岐阜赤十字病院／ニプロファーマ(株)／大洋薬品工業(株)

#### 現代教育学部

県立 養護学校教員／県立 学校教員／名古屋市立小学校教員／春日井市役所(保育士)／小牧市役所／瀬戸市適応指導教室オアシス21／清須市役所(保育士)／豊田市役所(保育士)／私立幼稚園／児童養護施設聖の家／多治見市社会福祉協議会／西春日井農業協同組合／(株)河合楽器製作所／(株)東計電算／スガキコシステムズ(株)／セコムジャスティック(株)



2011.7-2012.6

# YEAR ALBUM

年間を通して

おこなわれたイベントの数々。  
ピックアップして写真とともに  
ご紹介します。

仲間とともに技術を競う

7/30

## 学長杯争奪 LEGOロボットコンテスト (CU-Robocon2011)



レゴブロックを使った本格的ロボット「レゴマインドストームNXT」。その腕を競う大会・WRO (World Robot Olympiad) の地区予選会をかねて、中部大学で「CU-Robocon」が開催されました。東海地区の高校生60チーム・約160名がエントリーし、熱戦を繰り広げました。また小学生部門では、小学生8チーム16人が参加。学生がアシスタントとなり、小学生をサポートしました。

学生が省エネイベントを企画

7/13

## 「打ち水大会」& 「食べて涼もう!かき氷無料配布」

中部大学ボランティア・NPOセンターの学生が、省エネ対策の一環として「打ち水」と、「かき氷無料配布」を企画。午前中はジョウロと散水車による打ち水がおこなわれました。午後からは、限定200食のかき氷が無料配布され、大勢の学生が第1学生ホールを囲むように列を作りました。



感慨深い50年の歴史

8/5~8

## フレッシュマンキャンプ 50周年記念イベント

大自然の中で仲間と触れ合い交流を深める、1年生を対象とした伝統行事「フレッシュマンキャンプ」。50周年を迎えた2011年8月、記念イベントがおこなわれました。参加者はOB、OGも含め総勢86名。30年前に埋めたタイムカプセルを掘り起こして出てきたのは、当時のキャンプのしおりやシャツなどの懐かしい品々。その後再び、20年後の開封を心待ちにして新たなタイムカプセルを埋めました。



15人の教員が受賞

8/1

## 中部大学 教育活動顕彰授賞式

「教育活動顕彰制度」のもと、2010年度教育活動優秀賞14人、教育活動特別賞1人が決定し、授賞式が開催されました。山下興亜学長、後藤俊夫副学長をはじめ約70人が出席。山 Down 学長から受賞者にお祝いと激励のあいさつがあり、受賞者一人ひとりに記念の楯が贈られました。続いて、宮田後援会長からお祝いの言葉とともに、受賞者の先生方に教育活動振興支援金が贈呈されました。





国家試験に向けて決意表明

10/29

## 保健看護学科「立志会」

生命健康科学部保健看護学科4年生(3期生)の「立志会」が、三浦幸平メモリアルホールで開催され、保健看護学科4年生とその家族、臨地実習先の病院関係者、教職員、3年生の計333人が出席しました。舞台上立った4年生は一人ひとりがキャンドルを手に決意表明をおこない、全員でゆずの『栄光の架橋』を合唱しました。



学生主体のビッグイベント

11/1~3

## 第48回中部大学祭

コミュニケーションの大切さを今一度再確認しようと掲げた今回のテーマは、「MESSAGE~温かさを感じよう~」。大学祭で人と人が触れ合う場を作り、心に残るメッセージを感じとってほしいという願いを込めて、さまざまなイベントがおこなわれました。名物企画「8時間自転車耐久レース」や「お笑いライブ」の人気は今年も健在。また3日間を通して、学科などによる研究発表展、有志による企画やステージ発表、模擬店やものづくり教室など、多彩な催しが来場者の皆さまを楽しませました。





約500人の聴衆が復興を祈って

12/17

## 第8回中部大学音楽祭

2011年の音楽祭は、名古屋市青少年文化センターアートピアホールで、東日本大震災チャリティーコンサートとして開催されました。今回も昨年に続いて、チャリティー部によるパフォーマンスから始まり、音楽系5クラブが次々と日頃の練習の成果を披露。最後に、片岡靖夫先生による指揮で、レクイエム序奏、フィンラン



ディアが演奏されました。今回の入場券売上金の一部と会場募金は、東日本大震災の義援金として寄付されました。

サウンド・オブ・ミュージックを演奏した管弦楽団。



ビッグバンドのサウンドを披露したナチュラルサウンズ・ジャズ・オーケストラ。



音楽家である本学の水村さおり講師によるピアノ演奏。



トレモロの優雅な響きを奏でたマンドリンクラブ。

頑張った学生を学長が表彰

1/26

## 平成23年度 学長表彰の会

勉強や研究、社会貢献などさまざまな分野で業績を上げた学生を表彰する「学長表彰の会」。23年度は、37件60人の学生が表彰され、学長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念品が手渡されました。その後、懇親会と記念撮影がおこなわれました。



新成人を激励

1/13

## 成人を祝う会

大学で成人を迎えた学生は2,341人で、成人を祝う会には約400人の学生が集まりました。山下興亜学長から新成人へのお祝いの言葉の後、代表の学生が記念品を受け取り、燭台へ点灯。続いて、ジャズピアニストの椎名豊氏が講演し、『Walkin' in the Clouds』（作曲：椎名豊）をはじめ計4曲を演奏しました。



留学生男女10人も振袖・袴姿で参加。

2,008名の新たな旅立ち

3/23

## 平成23年度 中部大学・中部大学大学院学位記授与式

学部の卒業生1,851名と大学院の修了生157名の計2,008名の学位授与式がおこなわれました。今年は、現代教育学部第1期生113名の卒業年度でもありました。あいにくの雨天でしたが、晴れ着やスーツに身を包んだ学生たちは、さらなる飛躍を誓い合い、思い出のキャンパスを巣立っていきました。





広がり、マナー向上の輪

5/16

## 第14回学内清掃キャンペーン

学生によるボランティア団体 C.U.P. (Clean Up Project in Chubu Univ.) による「第14回学内清掃キャンペーン」がおこなわれました。参加者は、学生・教職員合わせて257人。受付で清掃道具を受け取り、約1時間かけてグラウンド、クラブハウスなど、学内各所に分かれてゴミやたばこの吸い殻などを拾いました。



2,764名の新入生を迎えて

4/2

## 平成24年度入学式

学部入学生2,603名、3年次編入学生14名、大学院生147名の計2,764名の新入生を迎えて執りおこなわれた「平成24年度入学式」。学長が「未来への元気な挑戦者となることを期待します」と告辞。新入生は、新たな生活への期待と緊張を胸に、確かな一歩をスタートさせました。



揃いのTシャツで一致団結

6/13

## 第10回全学学科対抗スポーツ大会

毎年恒例の全学学科対抗スポーツ大会がメイングラウンドで開催され、7学部29学科の学生と教職員合わせて約3,000人が参加。400mリレー、長縄跳び、綱引きなどの5種目で白熱した戦いが繰り広げられました。結果は、昨年初出場で総合優勝を決めたスポーツ保健医療学科が、2連覇を成し遂げました。



### 大会結果

優勝 / スポーツ保健医療学科  
第2位 / 理学療法学科  
第3位 / 機械工学科

### 競技種目

- リレー男子 (4×100m)
- リレー女子 (4×50m)
- 長縄跳び
- Tug of War Sport (綱引き)
- アジヤタ競技 (玉入れ)

徹夜で約42kmを完歩

6/2~3

## 第18回ナイトウォーク

昨年、天候不良で中止となったナイトウォーク。今年は無事開催され、学生73名と教職員6名が、中部大学から恵那市の研修センターを目指してスタート。午後8時に出発した一行は、3~6キロごとに設けられた休憩ポイントで体を休めつつ、足の痛みにも耐えながら歩き続け、約12時間かけてゴールしました。





# 学科 & ゼミ紹介

高度な専門能力を身につける大学院6研究科15専攻と文理融合の7学部29学科を擁する中部大学。ここでは、7学部の各学科の概要と合わせて、1学部につき1つのゼミをピックアップしてゼミ学生から紹介します。

## 工学部

### 電子情報工学科

エレクトロニクス技術分野を  
活用・開拓する実践的な能力を身につける。

エレクトロニクスの先端分野を切り拓くことのできる電子情報技術者を養成します。「電子」「情報」「通信」の基礎から応用に至る実践力を養います。

### 都市建設工学科

環境、資源・エネルギー、  
災害対策までを見据えた新しい社会基盤作りへ。

土木工学を基礎として、社会基盤の整備や持続発展可能な開発・保全について学習。計画・設計・施工・管理の能力を身につけた都市建設技術者を育てます。

### 建築学科

人のために、社会のために。  
建築のデザインと技術の可能性を追求する。

歴史や社会との関わりを重視した建築デザイン、安全な建築のための材料と構造、建築内外の環境などを学習。経験主義を通して実践的能力を磨きます。

### 応用化学科

化学を環境に生かす視点で、  
問題解決能力の高い化学技術者・研究者を育成。

環境問題・エネルギー問題・食料問題などを解くカギとして期待される応用化学。人類の持続的発展と環境保全に貢献できる化学技術者・研究者を育てます。

### 情報工学科

情報化社会の最先端で活躍できる能力を身につけ、  
情報工学のプロになる。

ソフト・ハード・通信・制御など、各種産業の核心となる技術を幅広く学習。実践力・応用力・創造性を備えた最先端技術者を育成します。

### 機械工学科

高度な能力を持ち、  
将来の可能性に適応できる機械技術者を育成。

幅広い産業を支える機械工学の基礎的な概念と専門知識を学び、各種機械を設計・製作・評価・管理する機械技術者に必要な能力を身につけます。

### 電気システム工学科

電気エネルギーの可能性を究め、  
電気関連技術をシステムとして学ぶ。

電気エネルギーをはじめ、エレクトロニクスやITにも対応できる電気技術者の育成を目指し、「電力・設備」「電機・制御」「電気・情報」の各分野を学びます。

Pick Up  
ゼミ



### 電子情報工学科 保黒 政大ゼミ

[研究テーマ]

### セキュリティへの応用に関する メディア処理とその認識技術の開発・研究

より高精度かつ利便性の高い個人識別の開発や、GPSを利用せずとも身近にある画像から現在地を補足させるシステムの開発など、画像処理技術に関する研究をしています。

# 経営情報学部

Pick Up  
ゼミ

経営学科 牧野 英克ゼミ

[研究テーマ]

## 企業の社会的責任に関する研究

好きな言葉は“誠実”というリーガルマインドを尊んでいる先生ですが、実はラブロマンスも好きという一面も。独自のプラトニックラブの解釈も説いてくださる面白い先生です。ゼミでは、“企業の心理”を探ります。



経営情報学科

情報技術と経営学・会計学を融合した  
経営情報プロフェッショナル人材の育成。

情報技術・経営学・会計学を融合して学び、経営のわかる情報技術者、情報に強い会計分野の専門家、情報技術を活用して企業活動を担う人材を育成します。

経営学科

変化の激しい社会に求められる  
ビジネスリーダー・経営専門家を育成。

激動する環境の中で組織を発展させ社会貢献にも努める経営者、自分の考えを持って活躍できる中堅ビジネスリーダー、会計や経営の高度専門家を育てます。

経営会計学科

会計に強い多彩なビジネス人と  
経営のわかる会計の専門家を育成。

会計学を中心に経営学をバランスよく学び、会計に強いビジネス人材や経営のわかる会計専門職、経営と会計の両面から企業経営をサポートする人材を育てます。

# 国際関係学部

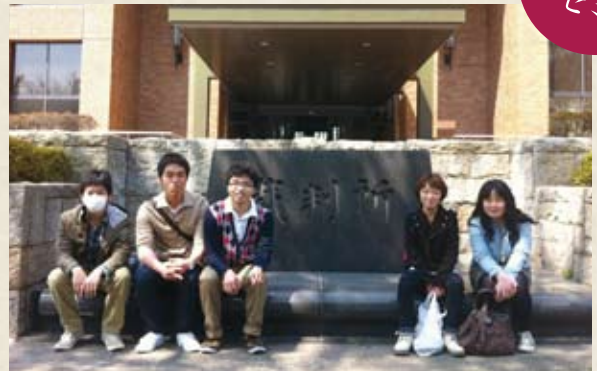
Pick Up  
ゼミ

国際関係学科 加々美 康彦ゼミ

[研究テーマ]

## 国際法上の領土問題に関する研究など

ゼミでは、単に法律を覚えるのではなく、「自分の言葉で相手をどう説得するか」というスキル育成に力を入れています。写真は、法律の世界を身近に感じようと、傍聴に出かけた名古屋地方裁判所前で。



国際関係学科

世界情勢を読み解き、  
複眼的思考を持った国際人を育成。

国際的な「知の現場主義」をモットーに掲げ、英語を中心とした語学力、国際社会の分析力(政治・経済・国際開発)、グローバルな交渉力や行動力を身につけます。

国際文化学科

各地域を比較論的なアプローチで探究し、  
語学力と国際感覚を磨く。

英語プラス1の外国語(中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、韓国語、アラビア語、トルコ語、スワヒリ語など)を学習、多文化理解力を養います。

中国語中国関係学科

中国を総合的に探究し、語学力と知識を  
備えた中国のエキスパートを育成。

言語・文化・社会・政治・経済など多方面から、現代中国にアプローチ。全員参加で実施する中国短期留学などを通じ、日本と中国を結ぶ人材を育てます。



# 人文学部

## 日本語 日本文化学科

言語と文化の専門領域を多彩に学べるカリキュラム、目指す進路も多岐に広がる。

日本語学・日本文学・日本文化史を中心として、宗教学・民俗学も含めて幅広く学びます。外国人留学生との交流を通じ日本を再認識することもできます。

## 英語 英米文化学科

英米文化を深く理解し、世界に通じる英語コミュニケーション能力を最大限に高める。

英米文化や言語学・言語教育学を学んで英語の運用能力を獲得。希望者全員参加の海外研修(米国)を通してたくましい人間を育てます。

## コミュニケーション 学科

正しい情報発信ができる  
メディア社会のリーダーを育成する。

多様化するメディアや人間の情報行動を学び、自ら情報を収集・編集・発信する能力を養います。マスコミ業界や企業の広報部門への就職を支援します。

## 心理学科

「こころ」を理解するための基礎から  
応用までを「体験」しながら身につける。

心理学の幅広い領域を学んで、広い視野と「心を理解する技術」を身につけます。心理学実験やアンケート調査をはじめ体験型授業を数多く開講します。

## 歴史地理学科

時間と空間を考察し、未来を見出す力を  
総合的に身につけていく。

あらゆる事象を「歴史的な経緯」と「地理的な視野」の両面から考察することで、現代社会を見つめ直す洞察力と未来を見通す力を養います。



## コミュニケーション学科 山本 明ゼミ

[研究テーマ]

### コミュニケーションの 社会心理に関する研究など

メディアコミュニケーションの心理的影響をテーマとして、幅広く研究。先生は、ゼミ生一人ひとりが取り組むさまざまなテーマに対して親身にアドバイスしてくれます。

# 応用生物学部

## 環境生物科学科

生物と環境への見識を深め、  
21世紀の環境創造に  
貢献できる人間の育成へ。

生物学と化学に加え、環境修復学・環境微生物学・生態学、バイオテクノロジーを学び、温暖化・食糧危機・環境破壊などの問題解決に貢献する人を育てます。

## 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻

先端バイオを修得した  
管理栄養士を育成し、  
食と健康の分野に貢献。

バイオサイエンスとフードテクノロジーの視点を備えた管理栄養士を養成。保健・医療・福祉・教育分野に加え、食品ビジネス分野での活躍も目指します。

## 応用生物化学科

進展するバイオ産業の  
第一線で活躍できる  
技術者・研究者を育てる。

最新のバイオテクノロジーとそれを支える化学技術を学び、微生物・動物・植物を扱う技術を習得。薬や食品といった産業分野での活躍を目指します。

## 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻

食のエキスパートを目指し、  
バイオサイエンスを基盤に、  
食と栄養の知識・技術を修得。

食と健康、栄養、それらに伴うさまざまな生命現象、食品分析法、食品の生産や流通を学び、安全でおいしく栄養的価値の高い食品を提供できる専門家を育てます。



## 環境生物科学科 南 基泰ゼミ

[研究テーマ]

### 東アジア地域における 生物多様性に関する研究

毎年恒例の新穂高山荘でおこなうゼミ生全員による野外調査&ゼミ合宿。写真はロープウェイで撮影したものです。先生と親しくなると、陽気でお茶目な一面が見られます。

# 生命健康科学部

Pick Up  
ゼミ

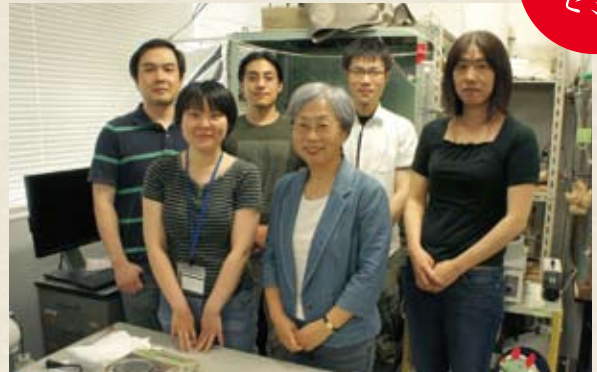
理学療法学科

水村 和枝ゼミ

[研究テーマ]

## 筋肉の痛みの末梢性機構に関する研究

リハビリの現場で重要な「筋肉の痛み」のメカニズムを解明すべく、楽しい雰囲気の中、ラットやマウスを使って個体レベルから細胞レベルまで幅広く実験をおこなっています。



生命医科学科

生命医科学を総合的に学び、健康と医療の発展を支える専門家を育成。

医学の基礎とバイオなどの化学技術を基盤とする新たな学問領域を開拓。疾病予防や健康増進に役立つ薬物・機器・医療技術の開発者養成を目指します。

保健看護学科

生命の本質を理解し、人々に信頼される実践力を備えた看護師・保健師・養護教諭を目指す。

医学と生命科学の基礎を身につけた看護師・保健師を養成。医師をはじめとする医療専門職と連携した新しい看護の実践能力を身につけることができます。

理学療法学科

医療・福祉の発展や人々の健康増進に貢献する理学療法士を育成。

身体の障害に対し、筋力、関節の動き、体力などを改善させる身体運動リハビリテーションの医療専門職、理学療法士を養成します。

作業療法学科

幅広い知識と技術を修得し、身体と精神の両面をサポートする作業療法士に。

脳とこころの動きの回復に重点をおき、「モノ創りの作業」を手段として用いる生活リハビリテーションの医療専門職、作業療法士を養成します。

臨床工学科

高度化する医用工学機器の操作や管理、開発を担う臨床工学技士を育成。

高度で精密な医用工学機器を、医療の現場で医師に協力して操作・管理する医療専門職、臨床工学技士を養成。工学部との連携を重視した教育をおこないます。

スポーツ保健医療学科

生命科学・医学を学び、健康スポーツを指導できる保健医療の専門家を育成。

医学知識に基づいて、健康の維持増進に役立つ運動プログラムを開発し、安全な実践指導をおこなう健康スポーツのプロを育成。救急救命士の養成にも力を注ぎます。

# 現代教育学部

児童教育学科

高木 徹ゼミ

[研究テーマ]

## 新美南吉と宮沢賢治の童話に関する研究

新美南吉や宮沢賢治の童話を読み、各々が疑問に思った点を調べて発表し、意見交流を図っています。メンバー同士はもちろん、ゼミ担当の高木先生とも仲が良いゼミです。



Pick Up  
ゼミ

幼児教育学科

子どもの願いを読み取り、共に願いを実現できる幼児教育の専門家を養成。

体験を重視した教育により、現場で発生する課題を解決できる人材を育成。保育士と幼稚園教諭の資格取得を目指すほか、特別支援保育の専門分野も学びます。

児童教育学科

時代のニーズに応えられる、確かな教育力を備えたアクティブな教師を養成。

現役の教育者や芸術家から指導を受ける科目を多数開講。また子どもの理科離れや外国人子女への教育などの課題に対応できる人材の育成にも力を注ぎます。



# ボランティア・NPOセンター活動報告

東日本大震災により、この国には被害とともに多くの課題が残されました。そうした難題が待ち受ける社会へ自信を持って歩み出すため、中部大学ボランティア・NPOセンターでは、学生が主体となってプロジェクトの企画・運営を実施。その様子を、今年もご紹介いたします。



気仙沼市の仮設住宅に住む子どもたちと。  
(災害対策プロジェクト)

## 災害対策プロジェクト

# 大規模災害「東海大地震」に備えた 実践的なプログラムの実施

2011年3月に発生した東日本大震災は、津波により多くの死者・行方不明者を出したことに加え、原発事故も重なったことで、今までの防災の常識を覆す複合的な大災害となりました。また、阪神淡路大震災では、多くのボランティア団体が熱心な支援活動を展開しましたが、経験不足から行政や企業、ボランティア団体との連携、ボランティアコーディネーターが不足するなど、支援活動が不十分な点もありました。こうした過去の災害を教訓として、災害対策プロジェクトでは、東海大地震に備えた実践的なプログラムの実施を理念に活動を展開。大学生を中心とした「協力し合い」「助け合い」のための関係づくりを目指しています。平成23年度は、東日本大震災の被災地支援募金活動や二度の被災地訪問によるボランティア活動を実施。また、救命講習会や学内防災訓練を通じて、災害に対する情報交換や学習活動をおこないました。

## Pick Up Event



【日時】平成23年9月5日(月)～8日(木)  
【場所】宮城県気仙沼市本吉町小泉地区、大谷地区

夏季長期休暇を利用し、気仙沼市の仮設住宅を訪問。消毒液、タオル、名古屋名物のきしめんを支援物資として配り、傾聴ボランティアをおこなった。傾聴ボランティアとは、ストレス発散や復興への気力づくりの手助けを目的に、被災者が経験した恐怖や今の生活についての話を親身になって聴くこと。仮設住宅を訪問していると、「お茶でも飲んでいく？」と声をかけていただくこともあり、被災直後の話や避難所生活の話、これからの復興に向けてのことなど、実体験を交えて話していただいた。夕方には、仮設住宅に住む子どもたちを対象にイベントを開き、「おもちゃのチャチャチャ」を用いたリズムゲームやダンスを一緒に楽しんだ。

活動名  
東日本大震災  
被災地支援①



【日時】平成23年12月25日(日)～26日(月)  
【場所】宮城県気仙沼市本吉町小泉地区、大谷地区

9月に訪問した仮設住宅へ、年末の挨拶を兼ねてお餅を届けた。中部大学音楽祭のときに募ったチャリティー募金で、お餅を購入。さらに、現地の人たちへ向けた手紙を書き、封筒に入れてお餅一つひとつに貼った。小泉地区に約100世帯分、大谷地区に約200世帯分の支援物資を寄付。年末ということもあり、お餅は喜んでいただけた。前回の訪問から約3カ月が経過していたが、復興は予想よりも進んでおらず、まだ被災地には、物的、人的に支援が必要であることを実感。一方で、メディアによる被災地の報道は少なくなっており、現地の方は「忘れられるのが怖い」と仰っていたのが印象的だった。今後も、継続的な支援をしていく必要性を改めて感じた。

活動名  
東日本大震災  
被災地支援②



Pick Up Event



こばと学園におけるボランティア活動  
インターネットでの動画の見方、文書の書き方など、利用者の希望に合わせたパソコンの補助を、コミュニケーションをとりながらおこなう。毎月2回の頻度で継続的に実施中。

【日時】平成20年6月～現在  
【場所】愛知県心身障害者コロニー  
こばと学園

日本の高齢者・障がい者の人口は増加傾向にあり、超高齢化社会へ移ると同時に、障がいの重度・重複化が進み、高齢であることや障がいを持っていることが理由による差別、虐待、いじめなどが社会問題として浮上しています。社会福祉プロジェクトでは、社会の中でのさまざまな問題の原因となっている差別や偏見をなくしていくことを目指す「心のバリアフリー」をテーマに掲げ、主に学生と地域の障がい者との交流を通じた活動をおこなっています。平成23年度は、プロジェクトの軸である重症心身障害児施設こばと学園でのパソコンボランティア活動、その他福祉施設でのボランティア活動、学内のチャリティーコンサートとの協働による募金活動のほか、介助犬フェスタや愛知県障がい者フライングディスク大会にもボランティアとして参加しました。

共感的な  
「心のバリアフリー」  
を目指して

Pick Up Event



子ども自然体験キャンプ2011

野外炊事やフィールド散策などにより、子どもたちに自然体験の魅力を伝えた。参加者全体の交流を目的としたキャンプファイアは、活動後のアンケートでも特に好評だった。

【日時】平成23年8月18日(木)、19日(金)  
【場所】春日井市少年自然の家

社会教育プロジェクトは、中部大学や春日井市、中部大学近辺の小学校と連携した教育活動を通して、子どもたちが自己探求心、表現力などのソーシャルスキルを身につけるためのきっかけづくりをおこなっています。近年失われがちな異年齢間のコミュニケーションを、地域と連携して図っていくことで、地域教育の活性化を目指しています。活動を企画する際に大切にしているのは、誰もが楽しく主体的に参加できる「参加型」であること、互いに学び知識を高め合う「相互型」であること、頭と身体を動かす「体験型」であることの三つ。平成23年度は、自然体験をきっかけに、子どもたちとコミュニケーションをとる環境教育の実践として「子ども自然体験キャンプ2011」を開催し、参加した子どもたちも喜んでもらうことができました。

「体験すること」  
をきっかけに、  
ソーシャルスキルの  
修得を目指す

Pick Up Event



ワクチン支援活動

発展途上国へのワクチン支援活動につながる身近な活動として、ペットボトルキャップ回収を実施。昨年から本学に持ってきてもらう形に回収方法を変更し、回収と並行してワークショップもおこなった。

【日時】平成23年7月2日(土)  
【場所】三浦幸平メモリアルホール

飢餓や紛争、環境破壊など、さまざまな問題を抱えている国際社会。これらの世界的な問題を学生が直接的な関わりで解決に導くことは困難ですが、地域で起こっている国際的な問題を解決できる可能性があります。国際理解プロジェクトでは、国際交流の発展と地域連携による国際理解教育を推進していくために国際理解活動に関心を深め、その理解力の向上を目指して活動しています。毎年おこなっている、ペットボトル回収によるワクチン支援活動を平成23年度も実施。回収量は年々増加しており、44万2千6百個のキャップを回収することができました。また、キャップ回収に協力してくれた小中学生に対し、なぜ回収が必要なのか、集められたキャップがどのように役立つのかなどを伝えることで、子どもたちへの国際理解の普及に取り組まれました。

国際交流の発展と、  
地域と連携した  
国際理解教育の  
推進に向けて



Pick Up Event



親子田んぼ体験2011

大学周辺地域の親子を招き、田植えから収穫祭までの一連の作業を体験。田んぼが与えてくれる恵みを肌で感じ、食と農のつながり、日々の食事のありがたさについて考えた。

【日時】平成23年6月5日(土)～11月5日(土)  
【場所】中部大学 環境水田、三浦幸平メモリアルホール

私たちが豊かで便利な生活を追い求めてきたことで、その生活がさまざまな環境破壊を引き起こす原因となっています。しかし、まだまだ私たちは環境対策への認識が薄いのが現状です。環境問題の解決には、一人ひとりが環境について考え、責任ある行動をとる必要があります。そこで環境対策プロジェクトでは、食と農のつながりや、日々の食事のありがたさに目を向けてもらうことを目指す「食農体験」、人間と環境との関わりについての理解と認識を深める「環境学習」、環境の改善や保全、創造を主体的に働きかける「自然保護」を中心に活動を展開。食農体験には「親子田んぼ体験」、環境学習には「省エネルギー推進活動」、自然保護には「生物大凶鑑」をおこない、地域とのネットワーク構築を図るとともに、自然と共存する社会の構築を目指しました。

環境プロジェクトの  
ネットワーク構築と  
実践と体験からの  
環境対策

Pick Up Event



福島っ子ウィンターキャンプ

福島に住んでいる子どもたちを放射能の不安から解放し、のびのびと生活してもらうことを目的とした活動。全日程を通して、子どもたちもスタッフも全員が笑顔で過ごすことができた。

【日時】平成24年1月3日(火)～8日(日)  
【場所】密蔵院

市民のまちづくりに対する意識が高まり、多くのボランティア・NPO団体が、まちづくり活動に参加するようになっていきます。そこで、まちづくりプロジェクトでは、国内外の先進的なまちづくりや地域活性化の事例を調査し、ボランティアやNPOによる社会貢献活動について研究。また、地域社会のコーディネート力を高め、行政や地域団体との連携を図ることで、地域との結びつきを強化しています。平成23年度は、春日井市市民活動支援センター運営委員会や、春日井まつり企画運営委員会へ参加し、春日井市の活性化に向けた「どっこいせ」を普及するための取り組みもおこないました。また、新たに大学近辺のゴミ拾い活動を実施し、「福島っ子ウィンターキャンプ」にも参加。活動を通じて、さまざまな人とのつながりができたことを実感しました。

地域貢献できる  
実践者“の育成と、  
行政と協働による  
市民参加活動の推進

中部大学ボランティア・NPOセンターは、建学の精神である「不言実行、あてになる人間」を、学生自身が実践し、自立的、自発的に行動できる人材の育成を目指して、「ボランティア活動の促進」と「ボランティアリーダーの養成」をおこなっています。

ボランティア活動を促進するプログラム

告知(パンフレットの配布)

4月におこなう新入生オリエンテーション時に、全学部学科の新入生を対象にパンフレットを配布しています。

説明会

ボランティア活動を始める前に、ボランティア・NPOセンターの目標や活動の種類、内容について説明しています。

ボランティア養成研修

リーダーや次期リーダー候補者、積極的に活動したい学生を対象に、春と夏の2回研修を実施しています。

ボランティアリーダーの養成

ボランティア・NPOセンターでは、ボランティアへの積極的な参加はもちろんのこと、活動を通じて社会人として通用するマナー、知識、技能の習得に力を入れています。仲間と共にイベントの企画立案・実施・評価をおこないながら、貴重な体験をすることができます。これらの活動を通じて、社会に求められる人材の育成を目指します。



ますます活発化!

# チャレンジ・サイト活動報告



学生が主体となり、さまざまなプロジェクトを意欲的に展開している活動「チャレンジ・サイト」。

平成23年度は全部で16プロジェクトが採択され、

2012年3月15日の活動報告会では、代表の学生から成果が発表されました。

今号は、その中から、オリジナル食品の開発に取り組むプロジェクトをピックアップしてご紹介します。

## オリジナル食品の開発に挑戦しよう! —震災時に役立つ非常用食品の開発—

指導教員 応用生物学部 食品栄養科学科  
根岸 晴夫教授

本プロジェクトでは、地域に貢献できる新しいアイデアの食品の開発を目指しています。23年度は東日本大震災による被害を重く受け止め、「非常用食品カンパン」の開発に挑戦しました。避難所生活時の栄養状況を調べたところ、牛乳・乳製品はほとんど提供されておらず、タンパク質が不足気味であることがわかりました。その状況を受けて、調理不要で軽くて携帯しやすいこと、栄養バランスの良さ、食べやすさなどを考慮して開発。さまざまな機会を得たアンケート結果を受けて、硬さや味、配合、形状などを改善していきました。ポイントは、棒状であることと、タンパク質強化として、ホエイタンパクを配合した点です。現在は、長期保存を視野に入れた包装形態を検討中。今後は、機械での製造方法の確立、配合の見直し、低コスト、品質の安定化などにも取り組んでいきます。



一定の温度ではなく、温度を変えて焼成。



中部大学フェアと地産地消フェアでの売上金29,831円を中部赤い羽根募金へ寄付しました。

◀ もしもの時の“相棒”となるように、という願いを込めて、「あいぼう」とネーミング。

## 「低アレルギークッキーの開発」にも取り組み中!

昨年に引き続き、本プロジェクトでは、低アレルギークッキーの開発にも取り組んでいます。「父母との集い」や保育園などで得たアンケート結果から、パッケージや型、味を改良。今後も、栄養価の強化、カロリーの低減、コスト削減、できるだけ自然なものを使用するなど、さまざまな観点から改善していきます。





## キャリアパス発見プロジェクト: 「働く人図鑑(仮)」 取材と記事制作

指導教員 経営情報学部 経営学科  
川北 真紀子 准教授ほか

働く道のりであるキャリアパスに関して、学生が興味を持ち、職業体験を通して社会人基礎力をつけることを目的として、雑誌「NG(ナゴヤジェントルマン)」の取材・記事作成を体験しました。

## 教師・保育士・運動指導員 としての実践的指導力を 育成するフレンドシップ活動

指導教員 現代教育学部 幼児教育学科  
花井 忠征 教授ほか

前年に引き続き、教員や保育者を目指す学生が参加するボランティア「フレンドシップ活動」を中心に活動。ツリークライミングや陶芸体験研修を通して、学生の実践的指導力を育成しました。

## エコな乗り物 デザインプロジェクト

指導教員 工学部 機械工学科  
平沢 太郎 准教授ほか

環境と人々の生活の理想的な調和を目的とした乗り物をデザインするプロジェクト。市販自動車の空力特性の検討や、エコな乗り物を、3DCADソフトを用いて製作、評価、改良をおこないました。

## クリーン燃料を作り ジープを走らせよう

指導教員 工学部 機械工学科  
行本 正雄 教授ほか

23年度は、過去4年間の成果をもとにジープの改造に着手しました。DMEとBDFの混合燃料による走行試験をおこなうために、追加燃料タンクの設置や燃料ラインを製作しました。

## 中部大生による 子育て応援プロジェクト

指導教員 生命健康科学部 保健看護学科  
石井 真 講師ほか

継続的に子どもの成長・発達過程を理解できる学習の機会を設けることを目的に、子育て支援ニーズが高い中部大学周辺地域で、学生が託児ボランティアを実施しました。

## 星と宇宙のロマンを探る 手作り天体望遠鏡の製作

指導教員 工学部 機械工学科  
難波 義治 教授ほか

本学の超精密加工技術を用いて天体望遠鏡を製作するプロジェクト。23年度は、アルミ合金の切り出しやCNC旋盤による加工などをおこない、反射式天体望遠鏡の試作機を完成させました。

## 「中部大学 子育てすすく育て隊」 地域貢献活動

指導教員 現代教育学部 幼児教育学科  
梶 美保 准教授ほか

学生自身の子育て支援社会への理解・参画、子育て支援力の向上などを目指した社会貢献活動。初年度の23年度は、安全で効果的な子育て支援ボランティアの体制づくりを中心に進めました。

## 東海地区学生の 意識調査の結果を フリーペーパーとして発信する

指導教員 経営情報学部 経営学科  
山下 裕文 准教授ほか

本学学生3学部14名が中心となり、東海2県13大学の学生からなる学生意識調査チームを立ち上げ、アンケートを実施。その結果を集計し、フリーペーパーとしてまとめ、各大学へ配布しました。

## 障がい者スポーツのすすめ

指導教員 生命健康科学部 スポーツ保健医療学科  
伊藤 守弘 准教授ほか

本プロジェクトの最終目標は、障がい者スポーツを理解し実践できる人材の基礎を育成すること。23年度も前年度同様、障がい者スポーツイベント「スポ・レクチャレンジ」を中心に活動しました。

## 中部大生が中部地方の 観光問題に迫る —現地での実態調査—

指導教員 人文学部 歴史地理学科  
山元 貴継 准教授ほか

前年度に1年生として参加した学生が中心となり、豊田市足助地区の観光問題に取り組みました。学生ならではの機動力を活かして、精緻な実態調査をおこない、データにまとめました。

## 産学官民協働による 中部大学周辺の 生物保全活動

指導教員 応用生物学部 環境生物科学科  
南 基泰 教授ほか

保全対象は、植物、昆虫、動物を含む生物全般。本学が位置する尾張北部丘陵地の生態系ネットワークのハブとしての機能を評価し、生物全般を保全するための指針を作成しています。

## 歴史研究会 考える葦

指導教員 現代教育学部 児童教育学科  
鶴田 正道 教授ほか

「知的レベル」、「資料収集能力」、「自主性や表現力」の向上を目指して、歴史に関連する自主ゼミや講演会、学外活動を実施。知識だけでなく、心で感じる感じがいかにか大切に学びました。

## ロボットチャレンジ

指導教員 工学部 機械工学科  
佐伯 守彦 准教授ほか

競技会に参加可能な新型ロボットを開発し、各種大会で上位を目指すことを目的に活動中。23年度は、国内大会の小型リーグおよび小型ヒューマノイドリーグで3位入賞を果たしました。

## 燃料電池小型スタックを 製作する中で 電気の重要性を知ろう!

指導教員 工学部 応用化学科  
今枝 健一 教授ほか

活動3年目を迎えた23年度は、リン酸塩固体電解質を用いた燃料電池小型スタックの製作、評価を実施し、初の電化製品の作動も確認。今後は出力が大きい電化製品の作動が目標です。

## 全国映像コンクールでの グランプリ獲得作戦

指導教員 人文学部 コミュニケーション学科  
齋藤 宏保 教授ほか

全国各地の映像コンクールにビデオ作品を出品し、グランプリ受賞を目指して活動中。23年度は「飛騨高山映像祭 YOUTH AWARD 2011」(応募作品71点中)で「新聞社賞(岐阜新聞)」を受賞しました。



# 国際交流支援

## ～世界とつながる中部大学～

世界13カ国22大学・機関と協定・提携を結び、学生の海外体験をバックアップしている中部大学。

語学の習得などに目的を絞った比較的短期のものから、半年から1年間、

協定大学の開講科目を現地の学生と一緒に学ぶものまで、多数のプログラムを用意しています。

ほかにも、さまざまなサポート体制で、学生の国際交流を応援しています。



### 留学・研修プログラム ※長期の留学・研修でも4年間での卒業が可能です。

海外研修プログラム	国名	期間	実施時期
オハイオ大学 長期研修 (初級・中級)	アメリカ	1学期間	3～7月
ハワイ大学 英語短期研修 (初級・中級)	アメリカ	3週間	8月 (休暇中)
オックスフォード 英語短期研修 (初級・中級)	イギリス	3週間	8～9月 (休暇中)
ニューイングランド大学 英語短期研修 (初級・中級)	オーストラリア	4週間	2～3月 (休暇中)
西洋美術研修	フランス	2週間	8月 (休暇中)
外交学院 中国語短期研修 (初級・中級)	中国	4週間	2～3月 (休暇中)
華東師範大学 中国語・インターンシップ短期研修 (初級・中級・上級)	中国	3週間	2～3月 (休暇中)
グアナフアト大学 スペイン語短期研修 (初級・中級)	メキシコ	4週間	2～3月 (休暇中)

派遣留学プログラム	国名	期間	実施時期
オハイオ大学 派遣留学 (上級)	アメリカ	1学期間	8月出発
ウェストバージニア大学 派遣留学 (上級)	アメリカ	1学期間	8月出発
ニューイングランド大学 派遣留学 (上級)	オーストラリア	1年間	2月出発
ハルビン理工大学 中国語・中国文化派遣留学 (中級・上級)	中国	1学期間	2月出発・ 8月出発
華東師範大学 派遣留学 (中級・上級)	中国	1学期間～ 1年間	2月出発・ 9月出発
圓光大学校 韓国語・韓国文化派遣留学 (中級・上級)	韓国	1学期間	2月出発・ 8月出発



語学力を磨こう!

SIルーム

SI(Self-Instruction)ルームは、19号館2階にある語学学習専用の自習室。入門から上級までのリーディング教材、音声、英字新聞、海外雑誌、TOEIC/TOEFL対策教材、映画DVDなど、自習に適した教材を専任教員が厳選して用意しています。



日本語学習をサポート!

カンパセーションパートナー

カンパセーションパートナーとは、協定大学からの外国人留学生の日本語学習を、中部大生が支援する制度です。留学生と日本語で会話することがおもしろい役割ですが、親しくなることで、日本人学生の外国語学習にも効果が期待できます。



授業はすべて英語!

PASEO

オハイオ大学から認定されている5人の外国人講師が担当する、中部大学独自の高度な英語教育プログラム。海外留学の準備をしたい人、留学から帰って来た人、英語が必要な職業を目指す人におすすめです。4月と9月に受講の募集をしています。

※Preparation for Academic Study in English Overseas



# 留学のための奨学金制度

2011年度は、中部大学や外部機関の奨学金制度を利用して、約150名の学生が留学しました。

1

オハイオ大学  
長期研修奨学金制度

オハイオ大学での授業料を中部大学が全額負担することに加え、中部大学から参加者全員に10万円の奨学金が支給されます。2年次だけに利用できる制度です。

2

「短期研修生」向け  
奨学金制度

研修期間1カ月につき8万円(返済不要)の奨学金が、(独)日本学生支援機構から支給される制度です。

3

「オハイオ大学長期研修生」・  
「派遣留学生」向け奨学金制度

大学の協定校への1学期間以上の派遣留学を対象としています。留学期間中、(独)日本学生支援機構から月額8万円(返済不要)の奨学金が支給される制度です。

4

オハイオ大学大学院  
奨学金留学制度

4年生と学部卒業後5年以内の卒業生が、オハイオ大学の大学院授業料免除(+語学学校受講料免除)と生活費の支給を受けられる大学院奨学金制度に応募できる制度です。

## まずは「国際交流センター」へ。

留学・研修に関する相談や申し込みはもちろん、留学先の情報を調べたい、海外留学生と交流を図りたいと思ったら、まずは国際交流センターを訪ねてください。さまざまなイベントを用意して、世界を学びたいという学生の意欲に応えています。

留学フェア

春・秋学期の始めにおこなわれる中部大学の留学プログラム説明会です。留学先別にコーナーが分かれていますので、一度にいろんなプログラムの説明を聞くことができます。また、交換留学生から直接、現地の様子を聞くことができる貴重な機会です。



出合い  
D.I.テーブル Discovering Internationalism Table

毎週木曜日のランチタイムに国際交流プラザで開催中のイベント。留学生と中部大生が同じテーブルを囲んで食事をする中で、さまざまな「出合い」や交流が生まれることを期待しています。国、性別、学科、年齢を超えた友だちの輪がきっと広がります。



C.U.P.S. Chubu University Peer Support

中部大生が留学生のピア(友だち)となり、さまざまなサポートを通じて国際交流することを目的とした、自主的な国際ボランティアグループです。留学生の歓送迎会、キャンパスツアー、名古屋市内見学など、多くのイベントを国際交流センターと企画・実施しています。





## 父母インタビュー

# 大学生を持つ親の気持ち

学生生活や学部の教育方針、  
大学の環境など、年に一度、中部大学について知り、  
中部大学を満喫する機会「父母との集い」。  
実際に足を運んだからこそわかること、  
先生方と直接話すことで見えてくることなど、  
大学に対する感想・要望、お子様への思いなどを伺いました。



このインタビューは、平成23年度「父母との集い」(2011年11月13日[日]・大学会場)に出席された方からのお話をまとめたものです。ご協力ありがとうございました。  
※お名前の上の表記は、取材時のご子息・ご息女の学部学科学年です。

3年生の後期に、希望のゼミに入る  
ことができ、とても喜んで通学していま  
す。担当は、土壌物理学、野生動物学  
の上野先生。研究室でアカネズミをたく  
さん飼っていて、金曜日の当番をまかさ  
れたと張り切っています。週末には、恵  
那の研修センターへ頻繁に出かけていき  
ます。恵那では、ネズミの生態や土壌の  
調査を通して、初めて研究の厳しさに直  
面したと聞きました。研究のためには、  
ネズミの体にキズをつけなくてはならな  
いこともありますよね。息子は動物好  
きなもので、最初はショックだったよう  
です。けれど、ゼミの先輩方に教えてい  
ただくことは貴重な内容ばかりで、得る  
ものがあるみたい。できれば、大学です  
とネズミを研究したいとまで言って  
います。でも、研究者になるなら、英語の  
勉強をして難しい論文を読めるよう  
になるなど、一歩抜きんでた努力をしな  
くは。好きなことだけやって生きていけ  
るならいいけれど、現実はいかに

好きなことを  
続けるには、  
それなりの努力が必要。

1

応用生物学部 環境生物科学科  
3年生のご両親  
岩井様

娘がどんな学生生活をおくっているか  
を知りたくて『父母との集い』に参加し  
ました。今日は個別面談もする予定で  
す。大学へこのように直接足を運べる機  
会はいいですね。全体会での学長さんが  
熱く語る様子は、まるで企業のプレゼン  
のようで好感を持ってました(笑)。  
私も企業人として、学生を受け入れ  
る側からの感想を言わせていただきます  
と、以前と比べて学生の質を感じて  
います。以前は、大学を卒業していれば  
ある程度粒が揃っていました。しかし最  
近は、本当に大学を卒業したの?と思う  
ことも。大切なのは、どこの大学を卒業  
したかではなく、何ができるのか。それ  
によつて企業としてはどこから教育しな  
ければならないかを判断しますが、ゼロか  
ら教えなければならぬ新入社員もいま  
す。大学全体に対する要望ですが、もう

学長さんの  
熱い思いが学生にも  
伝わってほしい。

2

人文学部 コミュニケーション学科  
1年生のご両親  
伊藤様

い…。親が言うのと反発するので、自分で  
気づいてほしいな、と見守っています。

少しレベルを揃えてほしいですね。今日の学長さんの話を聞けば、中部大学はトップが厳しくやってくれているという印象ですから期待はしています。その思いが学生にも伝わるといいですね。

3  
厳しい就職状況でも、  
妥協はしてほしくない。

経営情報学部 経営情報学科  
3年生の二両親

加藤様

『父母との集い』に毎年参加していると、就職状況が年々厳しくなっていると感じます。不安もありますが、大学のバックアップ体制が充実しており、懸命に指導していただき心強いです。しかし、肝心の学生の意識が低いとは、困りますね。息子は、3年生になってガイダンスに出席してから、就職について少しずつ考えるようになった様子です。ただ、パソコンで手当たり次第に調べているだけでターゲットを絞り込めず、行動には移していません。仲の良い大学の友人も、のんびりやっているとのこと。これから実際に何社かトライしてみても、初めて現実に直面するのでしよう。ただ、親としては、厳しい時代だからといって、就職に妥協は

してほしくありません。志望する企業の方針などをよく理解して、自分なりに二本筋を通せるような社会生活を送ってほしいと思います。自分の好きなことが人のためになる。そんな仕事に就いてもらえたら、うれしいですね。

4  
縦に伸び、横に広がる、  
円球のような成長を。

応用生物学部 食品栄養科学科  
1年生の二両親

山田様

今日の全体会では、人間性を重視したお話を聞くことができました。専門知識や技術の習得も大事だけれど、コミュニケーション力や人間性を大切にされているようで、バランスのとれた教育だと感じます。就職状況に関しては、企業が求める新卒者像と学生の意識との間に隔たりがあると聞いて納得しました。また、厳しい就職状況にあわせて指導をしてくださっていると知り、ホッとしています。まだ開設して数年しか経っていない食品栄養科学科は、実績が少なくないにも関わらず、卒業生に対する企業の評判が良いようですね。確か、アメリカのデータだったと思いますが、

大企業に就職しても途中で辞めてしまう人の六割ほどは人間関係が理由とのこと。日本の企業も同じではないかと思えます。人間関係を良好に保ちながら、いかに自分自身を成長させていけるかが課題です。人は、縦にばかり伸びると自分本位になり、横に広がるだけでは進歩がない。円球を大きくしていくような人間づくり、関係づくりを目指してほしいですね。

5  
会話を増やして、  
親子で就職活動を。

工学部 機械工学科  
3年生の二両親

長谷川様

息子は無口で、大学生活についてあまり話をしてくれません。でも、親としては、大学や息子が専攻している機械工学科のことをもつとよく知りたい。そう思って『父母との集い』に参加しました。今日のお話を聞いてわかったことは、行動力がなく大人しいのは、うちの息子だけではないということ。みんなと一緒なら企業説明会にも参加できるシャイな性格と聞いて納得です。親としては、たとえ一人でも積極的に活動するくらいの気

概がほしいと思ってしまうのですが…。これからは、就職について親子の会話がないでは済まされませんね(笑)。話し合いを重ねて一緒に就職活動をスタートしなくては。息子ひとりに任せてはいられないという気持ちです。息子は、反抗や反発をすることはないけれど、こちらが気合いを入れ過ぎても、空回りするだけでしょう。慎重に、まずは環境から整えていきたいと思っています。

6  
せっかく足を運べる  
良い機会を  
充実した一日にしたい。

現代教育学部 幼児教育学科  
3年生の二両親

伊東様

『父母との集い』は、息子が大学でお世話になっている間でないかと来られませんか、就職のことも気になり参加しました。個別面談では、やるべきことはきちんとやっていると先生からお話しいただきました。幼児教育学科ということもあり、保育士を目指して実習もやっているようです。就職難の時代ですし、先生からも難しいと言われましたが、息子自身は保育士になれたらいいなと思つて頑張っているようです。ただ、現実



にも目を向けなければなりません。今までは理想を追いかけて学生生活をおくっていてもよかったです。就職となるとそうはいかないでしょう。そのようなことも息子と話をしなければなりませんね。今日はせっかく大学へ行くのだから、丸一日、上手に時間を使いたいと思って朝から来ました。日々こういう場所です生活しているんだな、こんな場所もあるんだなと話しながら、学内を見させていただきました。

## 自分の考えを、 きちんと 伝えられる人間に。

7

生命科学部 生命医科学科  
3年生の二両親

野澤様

『父母との集い』には毎年参加していますが、初回は赴任先の九州での参加でした。当日は学長さんとマンツーマンで濃いお話ができましたので、そのときと比較しますとこの会場での内容は物足りなく感じてしまう部分もあります。全体会は一方的な発信なので、もう少し工夫していただきたいです。  
娘は昔から人の痛みがわかる子で、困っている人がいれば自発的に助けてあ

げることができる子でした。具体的に聞いたわけではありませんが、おそらく人のためになる仕事がしたいと考えて医療系の学部に進んだのだと思います。就職については、自分の好きな仕事をし、後悔さえしなければいいと思っています。ただ、そのための準備として、きちんとした会話のできる人間になってほしいです。自分の考えを伝えることをしっかりと伝えられる人間はなかなかいないと思います。娘の場合、まだ自分の頭の中でイメージしていることの20%くらいしか相手に伝えられていないのではないのでしょうか。コミュニケーションについて、もう少し意識して生活してほしいと思いますね。

## 時代の流れに沿って 工夫している 中部大学に期待。

8

国際関係学部 中国語中国関係学科  
3年生の二両親

青木様

大学がどのように変わったか、就職に對してどう考えているか、また、いまだ大学の経営環境が厳しい中で、学長さんがどのような考え方で教育を進められているかなどを知りたくて参加しまし

た。入学式のときも感じたことですが、学長さんの話は、熱い思いがわかりやすい言葉で表現されていますね。また、時代の流れに沿って大学が工夫しながら教育をおこなっているように感じます。また、かつて郊外へキャンパスを開設したさまざまな大学が、最近では郊外から都市部へキャンパスを移そうとしています。しかし、中部大学は、当初からここを総合拠点として集中的に拡大してきたことは、いまとなつては正解だったのではないのでしょうか。総合大学として学問はもちろん、人間教育に力を入れていることも感じとれます。中部大学には特徴があるし、これを学びたいという学生が入学したくなるような大学に特化していきけるような力をつけてPRしていったほうがいいですね。

娘はいま中国に一人で留学中ということもあり、一度中国まで行ってきました。また今日は、先週中国へ行かれた先生から娘の話を直接聞くことができ、安心しました。日本と中国のどちらで就職するか悩んでいるようです。中国語をできるだけ活かす方向での絞っていただければよいですが、最終的には本人次第ですね。ただ体が資本。体調を崩さないよう健康管理には十分注意してほしいです。

## 資格の取得について、 丁寧な指導を期待。

9

応用生物学部 応用生物化学科  
2年生の二両親

岡島様

全体会は一方的に話を聞いているばかりです。内容もありきたりな印象でした。もう少し大学としての考えや、今後の話が聞けるとよかったです。一堂に会する形ではなく、学年毎に分けて話をした方がよいのではないのでしょうか。その方が要点を絞った話ができますし、就職の話など大事な部分に、より時間を割くことができると思います。また、学部説明会も正直、聞いていて先生方の話があまり上手くないなと思いました。私たちは素人ですから、もう少しユーモアを交えるなど話し方を工夫していただけるといいですね。  
息子は友人も多く、素直にまっすぐ育ってくれたと思っておりますが、典型的なゆとり世代と言いますか、とにかく欲がない。それは周りの友だちを見ていてもそう思うのですが、もう少し競争意識を持つてほしいです。大学生は、何かを始める時間も機会もたくさんあるのだから、興味のあることをもつ

とやってみてほしいと思います。壁にぶつかったとしても、それもいい経験ですから。たとえば資格に挑戦して取得することができれば、成功体験になります。しかし、目的がないとなかなか挑戦する気が起りません。「この資格を取得する」ということに有利」など、日頃から学生に対して大学側が丁寧に教えてくれるとうれしいです。

## 病気を克服した息子に、 精一杯のエールを 贈りたい。

10

人文学部 日本語日本文化学科  
4年のご両親

山本様

息子は高校時代に身体を壊して休学し、高等学校卒業程度認定試験を受けて中部大学に入学しました。通学に二時間以上かかるので心配したのですが、就活など以外では一日も休むことなく、無事4年生になりました。その理由は、今日初めて大学を訪ねて、わかった気がします。広々としたキャンパス、きれいに整えられた校舎、自然もたつぷり。まるで、小さなテーマパークのようですね。この素晴らしい環境が息子の健康に良い影響を与えたのでしょう。病気のときは

気分も落ち込みがちでしたが、冗談好きの明るい子になりました。友人にも恵まれ、毎日楽しそうです。最初は大学に通えるようになっただけで満足だった私たちも、卒業できそうとなると、できれば就職してほしいと欲が出てしまいます。今日は就職個別相談会にも出席し、しっかりと話を聞こうと思います。内定の獲り方くらいレクチャーできるようにならなくては…。今後も、親として精一杯の応援をしていくつもりです。

## アルバイトも、 重要な社会勉強。

11

経営情報学部 経営情報学科  
3年生のご両親

永田様

娘は大学に入ってからずっと二つのアルバイトを続けています。オーナーの方から、特によくやってくれているということで、責任のある業務を任せられているようです。就職活動の際に、アルバイトのことは評価されにくいという全体会でのお話もありましたが、娘の場合はアルバイトをしてとても変わったのでよかったと思っています。やった分だけ評価してもらっていることから、仕事にや

りがいを見出し、責任感や自信にも繋がっていることが見てとれます。お客さんへの対応や職場での人間関係のいい勉強にもなっているようです。

就職については、まだ具体的に希望の会社があるわけはありませんが、学部での学びを活かし、会計など事務的な役割の仕事をしたいと言っています。

これまで毎年『父母との集い』に参加させてもらい、中部大学は学生に対していろいろな面で手厚くサポートをしてくれている印象を持っています。今回は就職活動の流れや、気になっていたことも確認できました。一年に一回、実際にキャンパスを見たり先生方とお話をしながら、大学の状況や雰囲気を確認できる貴重な場ですから、ぜひ来年も参加したいです。

## 今しかできないことを よく考えて 生活してほしい。

12

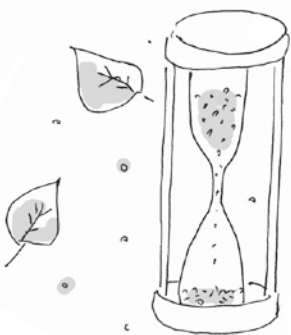
工学部 電子情報工学科  
2年生のお母様

M様

『父母との集い』は初参加でしたが、今日はいいお話が聞けました。特に普段私たちは自分の子どものことしかわか

りませんので、大学全体がどうなのか、また中部大学がどういう取り組みをしているのかがわかりよかったです。聞きます。ただ、個別面談で先生にお話を聞いたところ、授業の出席率で息子から聞いていたことと話が大きく違っていてショックでした。本人からは特定の授業で出席カードを出し忘れていたのだと聞いていたのですが、先生からは全体的に出席率が低いと言われました。毎日大学にはちゃんと行っているのに安心していたのですが、帰ったらしっかりと話さなければいけません。

電子情報工学科は就職率がほぼ100%に近いと聞いていますが、息子がそこに入るかはわかりませんので、しっかりと準備してほしいです。社会に出てある程度の年齢になると、あのときもつと勉強しておけばよかったと思うことがあります。後悔しないように、勉強でもそれ以外でも、大学生のうちに





しかできないことをよく考えて毎日を過ごしてほしいです。

## 海外留学で、 自分に自信が ついたみたいです。

13

人文学部 日本語日本文化学科  
2年生の二両親 望月様

『父母との集い』には上の子のときから参加しているので、今回で6回目。こういう機会でもないとなかなか大学に来られませんので、毎年楽しみにしている行事です。メモリアルホールでおこなっていた頃に比べると会場が大きいため、少し声が聞きとりづらいかと思います。

娘は絵を描いたり、ものをつくったり、コッコツと何かに打ち込むことが好きなタイプ。特にお菓子作りが好きで、パティシエになりたいと言っていた時期もありましたが、体力的に相当厳しい仕事だということで、今は趣味と割り切っているようです。自発的に行動を起こすことの少ない子でしたが、今年の夏に初めてイギリスへ短期留学に行きました。一人で生活してきたことで、少し自分に自信がついた様子です。留学の報告会でフランスに行った学生の話の聞き

て、早くも次はフランスに行きたいと言っています。就職についてはまだ何も考えていないようですが、私たちとしては本人がやりたいことを応援していくつもり。しかし、できれば規模が小さくても安定した企業に勤めてほしい、というのが親の本音ですね。

## 大学生活の始まりには、 初年次教育が必要。

14

現代教育学部 児童教育学科  
3年生の二両親

河合様

大学は高校までと違い、授業の受け方や単位の取り方などの基本的なことも含め、自分で行動しなければわからないことが多いと思います。特に息子は新しい学部だったこともあり、大学に入った頃は環境の変化に苦労したみたいです。今日、初年次教育というものができたと聞いて安心しましたが、やはりそういった指導がなされるべきだと思います。自分で積極的に行動できたり、わからないことを聞きに行ける子はよいですが、今はなかなかそれができない子も多いでしょうから。

中部大学は毎年『父母との集い』があ

ることで、大学の指導状況を確認できたり、直接先生方と顔を合わせてお話をすることができ、非常にありがたいかと思っています。

息子は現在下宿をしています。散髪ついでに2カ月に一度くらいのペースで実家に帰ってきます。ですからそのときどきの状況も含め、コミュニケーションは頻繁にとれています。息子のいいところは、誰とでも上手く付き合えるところ。しかしその中で、深い付き合いの友だちがどれだけいるかはわかりません。一生の友になれるような友人を、一人でも多く学生生活の間に見つけてほしいと思います。

## 親子ともども、 先生に支えられました。

15

経営情報学部 経営学科  
4年の二両親

古谷様

4年間、父母との集いの個別面談を森岡先生に担当していただき、大学での息子の様子や成績などを教えてもらっています。3年生からは、ゼミの先生としてもお世話になっています。大学には担任の先生がいなくて、先生方と直接お話しする機会がなかなかないので、本



当にありがたいですね。朝が苦手な子なので、一人暮らしは心配でしたが、遅刻がないと聞いて安心しました。親から見ると何も変わらないようでも、しっかりとできているとしたら、中学からずっと続けているテニスのおかげかもしれません。テニスを通じて先輩方や他大学の学生さんと知り合う機会が多かったようです。先生にも「随分、大人になりましたよ」と言ってくれました。最近、地元で就職が決まり、胸をなでおろしています。先生からもアドバイスをいただいたのですが、最終的に決まった企業は自分で探してきたところです。私たちも、主人がインターネットで説明会を調べては伝えるなどして応援しました。残りは、卒業論文です。こちらは、先生が「ピシッと締めていきます」とおっしゃっていたので、おまかせしたいと思います。

## 就職について

### もっと掘り下げた 情報を知りたい。

16

応用生物学部 環境生物科学科  
1年生のご両親  
加藤様

リーマンショック、東日本大震災など、先行きがわからない昨今、息子が通う大学の現況を知りたくて『父母との集い』に参加しました。学生部長さんの話では、改めて厳しい状況を実感。1年次から目標をしっかりと定めて学生生活をおくること、そしてあまりアルバイトに走ることなく、日頃から勉強をしなければならぬと感じましたね。学部説明会では、資料が見にくいという難点がありました。親として気になったのはやはり就職のこと。就職率は良いと聞きましたが、もう少し掘り下げた情報、たとえば先輩方はこんな会社へ就職している、こういった方面への就職が有利だという話まで聞けるとよかったですね。厳しい現実の中、息子には信念を持って邁進していかなければダメだと伝えたい。また今日は、社会では人柄や信頼性が重要という話もありました。親としてはどうしても「勉強、勉強」と言ってしまう

すが、まずは人間関係をしっかりと築くと、コミュニケーションがきちんととれることが大事だと感じました。

## 大学が学生のことを ここまで考えてくれて いることに驚きました。

17

経営情報学部 経営学科  
4年生のご両親  
松島様

大学へ来たのは、入学式以来です。息子が4年生で学生生活最後の年ですから、もう一度大学を見せてもらおうと思い『父母との集い』に初めて参加しました。全体会の話から学長さんはじめ教職員の皆さんが、学生のことをここまで親身に考え、大学全体で学生を成長させるんだという強い思いを持たれていることにとても驚きました。また親御さんがたくさん参加されていたことにもびっくりです。このように学内を見られる機会はありませんし、学長さんの話もめつたに聞けるものでもありませんから、毎年来ていけばよかったかなと少し後悔しています。息子は下宿して日々話す機会もなかなかありませんし、せつかく近くまで来ていますから、この後は下宿先へ行こうと思っています。

平成24年度

# 「父母との集い」ご案内

## 大学会場

[対象学部] 全学部

11月11日(日) 場所: 中部大学

### プログラム

9:30~ 受付

10:00~ 全体会

11:30~ 学内見学・昼食

13:00~ 学部(学科)説明会

大学会場は  
1・2年生の保護者中心の  
プログラムです。

学長あいさつ/学生生活について/  
就職の活動支援について

附属三浦記念図書館、民族資料博物館、  
茶室など

教育方針等の説明/  
学科の先生方による個別面談(要申込)

下記場所にて各種相談を受け付けています。

13:30~

キャンパスプラザ1F ラウンジ	キャンパスプラザ2F 国際交流プラザ	9号館
●学生生活コーナー ●入試相談コーナー (大学院・学部)	●留学相談	●就職コーナー

### 全体会

大学のバックアップ体制をわかりやすくご説明いたします。

### 学部(学科)説明会

在籍学部・学科の近況をお伝えします。

### 個別面談

各学科教員や就職担当者が直接お応えいたします。

### 学内見学

広大なキャンパス内を自由にご見学いただけます。

## 地方会場

[対象学部] 全学部

今年は以下の6会場で開催いたします。  
お申込みの上、お近くの会場へご参加ください。

松本会場 9月30日(日) ホテルブエナビスタ

金沢会場 10月6日(土) ホテル金沢

四日市会場 10月14日(日) 四日市都ホテル

岐阜会場 10月21日(日) 岐阜グランドホテル

浜松会場 10月28日(日) オークラクトシティホテル浜松

神戸会場 11月17日(土) 神戸東急イン

### プログラム

10:00~ 受付

10:30~ 全体会

12:00~ 昼食

12:50~ 個別面談

専用ハガキでお申し込みされていない方は、ご希望の会場・期日を選び、事務局まで至急お申し込みください。

中部大学  
後援会事務局

TEL.0568-51-4745

大学会場の開催日は、11月11日(日)です。ご希望会場・日時をお間違えないようお越しください。



もっと頑張れば、きっといいことがあるよ。

部活の先輩の言葉です。あきらめようとしていることを相談したら、親身になって相談に乗ってくれて、もっと頑張ろうと思えた一言です。



現代教育学部  
幼児教育学科1年 山田 彩香さん

感・即・動。

ある企業のセミナーに行った時に聞いた言葉です。普通は、“感じてすぐ動く”と捉えられていると思いますが、その方は、感じるとは即ち動くということ、動くからこそ感じられるのだと言いました。それ以来、迷う前にこの言葉を思い返しています。

工学部  
電気システム工学科4年 溝口 恵介さん



お前らにバスケットを  
教えることができてよかった。

高校時代、最後の試合に負けて終わった時に、先生から言われた言葉です。

工学部  
電気システム工学科4年 吉田 邦彦さん

# いまも心に残る あの言葉。

言葉はときに、人の気持ちを大きく動かします。  
そのときの状況や気持ちによって、  
受け止め方が変わるのも言葉の不思議な魅力です。  
でも確かに言えるのは、言葉には力があるということ。  
親、先生、先輩…あるいはマンガの主人公の言葉。  
学生の皆さんに、聞きました。  
いまもあなたの心に残っている言葉は何ですか？

※突然のインタビューにも関わらず、快く書いてくださった学生の皆さん、  
ご協力ありがとうございました。〔「信頼」編集者より〕



努力をすれば夢は叶う。

自分は小中高まで、勉強への意識が低く、全くというほど何もしてきませんでした。大学に入学し、ゼミに所属し、加々美先生のもとで勉強をするようになってから、自分の勉強に対する意識が少しずつ高まりました。その時にきっかけくれた先生の一言です。

国際関係学部  
国際関係学科4年 秋吉 直樹さん

負けたと  
決まった訳じゃないのに、  
泣くんじゃねえ!!

中学の部活の最後の大会で、自分のせいで負けてしまうと弱音を吐いた時に、部活の顧問に言われた言葉です。普段あまり叱らない顧問に怒鳴られ、その時に改めて私たちへの愛を感じました。

生命健康科学部  
保健看護学科2年 田中 莉沙子さん







努力だけでは  
どうにもならないかもしれない。  
しかし、努力をしなければ、  
確実にこのまま。

これは、漫画「ハチミツとクローバー」での言葉です。努力することで夢に近づくとは限らないけれど、努力しないと夢は叶わないということは、厳しくも優しい言葉だと思いました。私も努力できる人になりたいです。

人文学部  
心理学科2年 小栗 真衣さん

みんなだれかに支えられて、  
だれかを支えて生きてる。

歌手のYUIの言葉です。今に至るまで、私はいろいろな人々と関わり、支えられて生きてきたと実感しています。親や友人、先生など支えてくれた人々に感謝しなければならないと思います。

応用生物学部  
応用生物化学科1年 小川 亜由美さん



努力は自分が判断するんじゃなくて、  
他人に努力していると言われれば  
努力していることになる!!

自分がアルバイトでちゃんと働いていたつもりでも、先輩に注意されて、その時はイライラしてしまいました。でもそのことを親に話した時に、この言葉を言われて納得しました。

経営情報学部  
経営情報学科2年 平野 達也さん

『統一球は飛ばない』という言葉に  
みんな逃げたんだ。

昨年プロ野球では、従来よりも飛距離の出にくいとされる「統一球」が導入され、バッターの成績が劇的に低下した。しかし、中日の前監督の落合氏によると、バッターの成績低下の原因はボールのせいではなく、バッター自身の技術の低下にあるとのこと。「自分の技術の無さをボールのせいにしたら、自分の進歩は止まる」という説明を聞き、僕自身も目の前の現実から逃げないという姿勢を学んだ。この言葉があったらからこそ、不況で就職難といわれる就活も乗り切れたと思う。



国際関係学部  
国際関係学科4年 千種 康平さん

おれは助けてもらわねえと、  
生きていけねえ自信がある!!!

私の好きなマンガ「ONE PIECE」でのルフィの言葉です。この言葉を聞いて、「人間は一人で生きていくことができない。絶対、誰かに支えられて生きているんだ」と考えさせられました。ルフィは、そのことを本能で理解していたんだと思います。人とのつながりを再認識させる言葉です。

応用生物学部  
応用生物化学科1年 岩間 安奈さん



報告

# 役員会・評議員会

平成24年5月19日(土)、キャッスルプラザにて、平成24年度中部大学後援会役員会・評議員会が開催されました。役員、評議員の皆さま大勢のご出席をいただき、すべての議事が滞りなく、無事進行、終了しましたことをここにご報告いたします。



## 平成23年度 後援会事業報告・ 決算報告

本会開会にあたり、最初に三浦後援会事務局長より、開会の挨拶が述べられました。続いて宮田会長からは、ディプロマ戦略や家庭教育の重要性などに触れたご挨拶。次に、ご不在の山下学長に代わり、後藤副学長から、後援会に

よる大学への多大な支援へのお礼とともに、大学の近況報告、2年後の開学50周年などのお話がありました。その後、事務局より出席状況の報告があり、会則により本会の成立が宣言され、慣例により議長に宮田会長が選出。各議案の審議へと移りました。  
第1号議案、第2号議案に進み、事務局から平成23年度の事業・収支報告および貸借対照表の報告がおこなわれ

た後、増田監査より監査報告がおこなわれ、皆さまのご理解をもって異議なく承認されました。

## 新役員が決定、 事業・予算案も 無事承認

第3号議案「役員・評議員の選出・委嘱」では、事務局より任期終了にもなう欠員の報告がされ、新たな役員への選出がおこなわれました。新会長には、副会長の小澤寿行氏が就任し、「1年間、副会長を務めさせていただき、後援会の素晴らしさを実感。引き続き皆様のご協力をお願いします」とご挨拶されました。

その後おこなわれた役員委嘱では、副会長に藤井勝也氏、監査には大柳三氏が選出され、満場一致で承認されました。また、顧問には飯吉理事長をはじめ12名の先生方が委嘱され、同時



小澤新会長が力強くご挨拶。

に、欠員にともない幹事・評議員が委嘱されました。

続いて第4号議案「平成24年度事業計画案」、第5号議案「平成24年度予算案」がともに審議され、皆さまの拍手をもって承認されました。最後に、記念事業寄付金の目録贈呈が小澤新会長から後藤副学長へおこなわれ、後藤副学長からは任期を終えられた宮田会長、増田監査に感謝状と記念品が贈られ、本会はすべての議事を無事終了。場所を移して懇親会が開かれ、先生方と役員・評議員の皆さまがお互いに親睦を深めました。



後藤副学長から会長の任期を終えた宮田氏へ感謝状と記念品が贈られました。

# 平成24年度計画

## ■平成24年度 事業計画

### 会員と大学との連絡をはかる事業

#### 1. 会議の開催

- 役員会・評議員会及び懇親会
- 大学の先生方との懇親会

#### 2. 「父母との集い」の開催

開催日	開催地	会場
9月30日(日)	松本	ホテルブエナビスタ
10月6日(土)	金沢	ホテル金沢
10月14日(日)	四日市	四日市都ホテル
10月21日(日)	岐阜	岐阜グランドホテル
10月28日(日)	浜松	オークラクトシティホテル浜松
11月11日(日)	大学	中部大学
11月17日(土)	神戸	神戸東急イン

#### 就職活動支援のための「父母との集い」

開催日	開催地	会場
5月12日(土)	大学	中部大学(4年生対象)
6月2日(土)	大学	中部大学(3年生対象)

#### 3. 出版事業

- 後援会会報「信頼」の刊行(全会員)

### 大学への助成

1. 教育・研究への協力
2. 就職活動に対する援助(学内企業説明会)

### 学生に対する助成

1. 課外教育活動に対する援助
2. チャレンジサイトへの援助
3. 就職活動に対する援助
  - ①学内企業説明会
  - ②資格取得講座・就職対策試験検定料等の補助
  - ③就職支援対策補助
4. 奨学援助
5. 災害見舞金の給付

## ■平成24年度 予算書

### 収入の部 単位(円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
前年度繰越金	11,863,740	12,766,586	△902,846	
後援会会費	129,360,000	125,800,000	3,560,000	平成24年度新会員 2,616名×@50,000 複数を籍者 会費減免 △48名×@30,000
雑収入	15,200	39,256	△24,056	預金利息
合計	141,238,940	138,605,842	2,633,098	

### 支出の部 単位(円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
助成金	101,220,000	102,720,000	△1,500,000	
記念事業寄付金	13,080,000	12,580,000	500,000	平成24年度新会員 2,616名×@5,000
課外活動援助金	44,100,000	43,110,000	1,000,000	課外活動援助金、 スポーツ大会援助金、医療費、 NPOボランティア活動援助金
教育・研究協力費	26,160,000	25,160,000	1,000,000	平成24年度新会員 2,616名×@10,000
就職活動援助金	8,870,000	12,370,000	△3,500,000	学内企業説明会就職支援対策費、 各種講座費用補助、 就職対策検定料補助
学生研究支援金	6,000,000	6,000,000	0	チャレンジサイト協力費
奨学援助金	2,000,000	2,000,000	0	
教育活動振興支援費	1,000,000	1,500,000	△500,000	教育活動顕彰制度に対する援助
事業費	24,000,000	24,000,000	0	
地区別後援会費	12,000,000	12,000,000	0	「父母との集い」会場費等
会議費	4,000,000	4,000,000	0	役員会・評議員会、役員懇親会
印刷出版費	7,000,000	7,000,000	0	「信頼」作成費等
災害見舞金	1,000,000	1,000,000	0	
事務費	6,812,000	6,762,000	50,000	
通信運搬費	3,890,000	3,890,000	0	案内発送費等
事務委託費	2,000,000	2,000,000	0	事務担当者委託費
印刷費	300,000	250,000	50,000	封筒等
消耗品費	300,000	300,000	0	コピー機保守料、事務用品等
旅費	20,000	20,000	0	交通費
租税公課	2,000	2,000	0	印紙代等
雑費	300,000	300,000	0	弔電・供花、振込手数料等
積立金繰入	1,000,000	1,000,000	0	
中部大学50周年記念積立	1,000,000	1,000,000	0	
予備費	1,000,000	1,000,000	0	
次年度繰越金	7,206,940	3,123,842	4,083,098	
合計	141,238,940	138,605,842	2,633,098	

# 平成23年度報告

## ■平成23年度 事業報告

月日	事業概要
5月21日	●役員会・評議員会・懇親会(キャッスルプラザ) 平成22年度事業報告・決算報告/役員・評議員改選/平成23年度事業計画・予算審議
5月26・27日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業118社/学生参加者数798名(70号館1階ラウンジ他)
6月3日	●平成23年度「父母との集い」案内号発行・発送(全会員)
6月28・29日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業104社/学生参加者数579名(三浦幸平メモリアルホール)
7月26・27日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業92社/学生参加者数438名(三浦幸平メモリアルホール)
8月1日	●2010年度教育活動顕彰授賞式(スチュデントホール) 後援会より教育活動振興支援費として援助(受賞者15名)
8月5日	●中部大学後援会会報「信頼」第57号発行・発送(全会員)
9月29日	●祝金贈呈(幸友会室) 剣道部 第58回東海学生剣道優勝大会 優勝
9月24日	●「父母との集い」開催 京都、静岡、博多、富山、松本、岐阜、四日市会場/全体会、個別面談 大学会場/全体会、学内見学、学部(学科)説明会、個別面談
11月13日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業121社/学生参加者数459名(三浦幸平メモリアルホール他)
10月13・14日	●祝金贈呈(幸友会室)
10月25日	●ハンドボール部 東海学生ハンドボール秋季リーグ戦 優勝
11月3日	●講演会開催(1511講義室) 演題:「会話が弾む話し方一人間関係を円滑に」講師:青山紀子氏
2月15日	●役員懇親会(キャッスルプラザ) ●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業169社/学生参加者数1,158名
2月15日	参加企業156社/学生参加者数1,078名
2月16日	参加企業164社/学生参加者数 938名
2月17日	参加企業 44社/学生参加者数 636名
2月22日	参加企業 40社/学生参加者数 409名
2月23日	参加企業 40社/学生参加者数 487名
2月24日	参加企業 39社/学生参加者数 251名
2月29日	参加企業 41社/学生参加者数 296名
3月1日	参加企業 40社/学生参加者数 152名
3月2日	

資格取得講座・公務員講座補助 21講座 1,125名受講  
就職対策試験検定料補助 27種 2,052名受講

### ■「父母との集い」実施状況 参加者 1,596名

開催地	会場	開催日	参加者
京都	京都センチュリーホテル	9月24日(土)	11名
静岡	ホテルアソシア静岡	10月1日(土)	56名
福岡	博多エクセルホテル東急	10月9日(日)	17名
富山	名鉄トヤマホテル	10月15日(土)	31名
松本	ホテルブエナビスタ	10月22日(土)	19名
岐阜	岐阜グランドホテル	10月29日(土)	135名
四日市	四日市都ホテル	11月6日(日)	51名
中部大学	中部大学体育館	11月13日(日)	1,276名

## ■平成23年度 収支報告書(平成23年4月1日より平成24年3月31日まで)

### 収入の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
前年度繰越金	12,766,586	12,766,586	0	
後援会会費	125,800,000	125,800,000	0	平成23年度新会員2,516名
雑収入	39,256	39,472	△216	預金利息
収入合計	138,605,842	138,606,058	△216	

### 支出の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
助成金	102,720,000	99,054,745	3,665,255	
記念事業寄付金	12,580,000	12,580,000	0	平成23年度新会員2,516名
課外活動援助金	43,110,000	43,110,000	0	課外活動援助金、 スポーツ大会援助金、医療費、 NPOボランティア活動援助金
教育・研究協力費	25,160,000	25,160,000	0	平成23年度新会員2,516名
就職活動援助金	12,370,000	9,701,750	2,668,250	学内企業説明会、 各種講座援助、 就職対策試験検定補助
学生研究支援金	6,000,000	6,000,000	0	チャレンジサイト協力金
奨学援助金	2,000,000	2,000,000	0	
教育活動振興支援費	1,500,000	502,995	997,005	教育活動顕彰制度に対する援助
事業費	24,000,000	20,875,077	3,124,923	
地区別後援会費	12,000,000	10,673,933	1,326,067	「父母との集い」 案内作成費・会場費等
会議費	4,000,000	2,898,753	1,101,247	役員会・評議員会、 講演会、役員懇親会
印刷出版費	7,000,000	7,052,391	△52,391	「信頼」作成費等
災害見舞金	1,000,000	250,000	750,000	
事務費	6,762,000	5,812,496	949,504	
通信運搬費	3,890,000	3,100,902	789,098	「信頼」・「ウブ」発送費、切手代等
事務委託費	2,000,000	2,000,000	0	事務担当者委託費
印刷費	250,000	215,500	34,500	封筒等
消耗品費	300,000	229,078	70,922	コピー機保守料、事務用品等
旅費	20,000	1,720	18,280	交通費
租税公課	2,000	2,000	0	印紙代
雑費	300,000	263,296	36,704	弔電、供花、振込手数料等
積立金繰入	1,000,000	1,000,000	0	
中部大学50周年記念基金	1,000,000	1,000,000	0	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
次年度繰越金	3,123,842	11,863,740	△8,739,898	
支出合計	138,605,842	138,606,058	△216	



# 平成24年度中部大学後援会役員・評議員

## ■顧問

[理事長] 飯吉 厚夫

[学長] 山下 興亜

[副学長] 中島 泉  
後藤 俊夫  
小野桂之介

[学監・後援会事務局長]

三浦 昌夫

[学長補佐] 山田 公夫

[教務部長] 大西 直之

[学生部長] 栗濱 忠司

[キャリアセンター長] 佐藤 厚

[事務局長] 大西 信之

[事務局次長] 川尻 則夫

## ■会長

小澤 寿行

[副会長] 加藤 鉄男  
藤井 勝也

## ■監査

舟橋 直司  
酒井 智康  
大柳 一三

## ■幹事

林 和宏  
鎌田 浩之

三宅 耕一  
宮島 史明  
片岡 久征

西脇 斉  
熊谷 基司  
秋田 和典

千賀 達也  
青木 信行  
庵 淳一

山本 常忠  
鈴木 弘二  
宮木 陸嗣

小寺 伸明  
長谷川 雅文  
新家 朋彦

加藤 登  
古田 浩司

日江井 伸晃  
伊藤 孝雄  
谷口 明春  
河野 高幸  
奥山 孝則  
皆方 克夫  
武藤 恒夫  
中島 久英  
長谷 治清  
伊藤 誠  
水野 直利  
杉野 哲司  
福島 金治  
小野 茂樹  
小野 秀夫  
長谷部 泰明  
大岡 義和  
稲垣 昌宏  
杉本 富夫  
久野 泰俊  
佐竹 一芳  
國井 康弘  
岡田 元  
山根 満  
木村 大介  
鈴木 鎮雄  
瀧川 靖  
小澤 浩  
西脇 義郎  
大島 実  
渡邊 勝己  
河地 隆

増井 康  
林本 知明  
横山 豊  
松本 敬史  
山本 信幸  
森内 茂夫  
竹内 数夫  
澤田 高樹  
熊澤 秀作  
長尾 伸一  
梶田 隆之  
西尾 崇  
村瀬 満俊  
伊丹 伸司  
伊藤 慎一  
堀池 明  
松島 利和  
中根 志郎  
近藤 隆義  
萩田 典由  
傍島 茂夫  
土居 正司  
佐野 雅彦  
二村 葉子  
大森 雅之  
田中 康隆  
伊藤 寿規  
安藤 達也  
田中 康司  
岡田 裕吉  
加藤 幸平  
戸川 比佐夫

羽賀 幸治  
奥山 正一  
坂口 直宏  
武藤 和成  
中野 憲二  
長沼 兼  
古池 邦彦  
上平 俊通  
高田 諭  
池ノ谷 真二  
岡本 博昭  
美濃島 馨  
小倉 浩靖  
永田 孝彰  
高原 宏孝  
森 重人  
角田 茂  
杉山 正幸  
小島 保彦  
小椋 浩二  
小笠 昌宣  
市原 裕司  
森山 行良

浅井 博司  
加藤 健二  
樋田 俊裕  
木村 則雅  
新美 哲夫  
村瀬 陽一  
榎田 義貞  
渡邊 和実  
平野 政彦  
長谷川 豊  
棚田 雅人  
山本 英俊  
熊谷 俊和  
神戸 正幸  
鈴木 次郎  
筒井 孝一  
小山 邦壽  
西垣 清司  
梅村 英樹  
朝倉 利浩  
松山 宗平  
前口 庄一郎  
作野 薫  
林 勝久  
東山 克芳  
堀辺 克彦  
上原 且資  
岩城 高則  
武山 静  
奥田 清人  
金武 文博  
高田 慶之

山本 浩司  
速水 雅二  
鈴木 裕一  
松原 健司  
三好 慎悟  
毛受 昭彦  
余吾 博司  
白井 一彦  
中田 欣也  
前川 富男  
高村 誠治  
堀田 保之  
中村 信男  
石黒 宏  
籠橋 伸  
福田 千尋  
川上 義彦  
小出 憲一  
加納 威  
高木 功司  
水谷 修市  
遠藤 敏宏  
小藁 富也  
瀬 雄治  
近藤 雄司  
加藤 起子  
小澤 栄二  
猪野 浩史  
倉内 久幸  
小澤 幸  
山本 雅明

## ■評議員

南 勝広  
梶野 秀夫  
井上 晴雅  
野田 嘉久  
山内 啓祐  
菅沼 嘉一  
墨 寿人

鈴木 芳信  
横井 正幸  
太田 敦之  
橋本 勝洋  
永田 貴司  
榎原 正樹  
木下 京司  
鷹見 偉之  
上田 宏  
入谷 貴也  
新實美 津子  
福盛 正和  
小野 浩司  
金崎 登士  
山崎 美知男  
三宅 敏  
林 勝  
柳生 高之  
林 幸広  
横地 秀行  
大矢 康博  
伊藤 彰隆  
佐渡 隆  
渡邊 孝文  
赤尾 忠則  
長崎 隆之  
村瀬 政信  
鈴木 正志  
足立 陽学  
野々垣 昌秀  
渋谷 昌秀

## 中部大学後援会会則

- 第1条 本会は中部大学後援会と称する。
- 第2条 本会の事務局は中部大学内におく。
- 第3条 本会は中部大学に協力し、大学を後援することを目的とする。
- 第4条 本会は前条の目的を達するために、次に掲げる事業を行う。  
(1) 大学の教育、研究及び施設設備の拡充  
(2) 学生の就職斡旋活動に関する援助  
(3) 大学と父母との連絡・会報の発行  
(4) 学生の福利厚生・奨学金援助  
(5) 学生の課外教育活動育成に必要な事業・援助  
(6) その他本会の目的達成に必要な事業
- 第5条 本会は次の会員をもって組織する。  
正会員 中部大学学生の父母  
賛助会員 本会の趣旨に賛助する者
- 第6条 本会に次の役員をおく。  
会長 1名 / 副会長 2名 / 幹事 各学科若干名  
監査 3名 / 顧問 若干名
- 第7条 会長、監査は評議員会において会員のうちから選出する。  
2 副会長、幹事は会員のうちから会長が委嘱する。  
3 顧問は役員会の議を経て会長が委嘱する。
- 第8条 役員は任務は次のとおりとする。  
会長は会務を総理し、本会を代表する。  
副会長は会長を補佐し、会長の事故あるときはその職務を代行する。  
幹事は会長の指示を受け、会務を行う。  
監査は本会の事業及び会計の監査にあたる。  
顧問は本会の重要事項について会長の諮問に応じ又は助言する。
- 第9条 役員は任期は1年とする。ただし、重任を妨げない。  
2 役員は任期満了後でも、後任の役員が選出されるまでは、なおその職務を行う。
- 第10条 役員会は役員をもって組織し、会長が招集する。  
2 役員会は次の事項を審議決定する。  
(1) 事業計画に関する事項 (2) 予算に関する事項  
(3) 決算に関する事項 (4) その他会長が必要と認める重要事項  
3 役員会は役員総数の過半数の出席(委任状を含む)をもって成立し、議事は出席者の過半数によって決定する。

- 第11条 本会に評議員会をおき、評議員をもって組織する。  
2 評議員会は毎年1回会長が招集し、次の事項を取り扱うものとする。  
(1) 事業計画の承認 (2) 予算、決算の承認  
(3) 会長及び監査の選出 (4) 会則の改正  
(5) その他役員会において重要と認める事項  
3 臨時評議員会は、必要に応じて会長が招集する。  
4 評議員会は、評議員総数の過半数の出席(委任状を含む)をもって成立し、議事は過半数の同意によって決定する。  
5 評議員会は会員のうちから別に定める定数基準によって会長が委嘱する。  
6 評議員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。
- 第12条 本会の経費は会費及び寄付金をもってあてる。  
2 正会員の会費は50,000円とし、子女入学の際に納入する。  
3 賛助会員の会費は、50,000円以上とし、入会の際に納入する。
- 第13条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第14条 本会の事務局は、庶務、会計の事務にあたる。
- 第15条 本会に地方支部をおくことができる。

## [附 則]

- (1) この会則は昭和42年4月13日から施行する。
- (2) この会の運用について必要な細則は役員会において別に定める。
- (3) 昭和43年 4月12日 一部改正
- (4) 昭和45年 4月 8日 一部改正
- (5) 昭和46年 4月 8日 一部改正
- (6) 昭和48年 4月 8日 一部改正
- (7) 昭和50年 4月 7日 一部改正
- (8) 昭和50年12月20日 一部改正
- (9) 昭和59年 4月 1日 一部改正
- (10) 昭和61年 4月 1日 一部改正
- (11) 昭和62年 4月 1日 一部改正
- (12) 平成12年 5月27日 一部改正

# 施設利用 & イベント開催のご案内

多彩な設備を完備し、教養を深める知的資産の提供や生涯学習などをおこなっている中部大学。開かれた総合大学をぜひご活用ください。

## 附属三浦記念図書館/民族資料博物館

### 多種多様な学術情報を提供。

地下2階、地上3階建ての建物に、約43万冊の蔵書冊数を誇る「知の宝庫」。大学全体では約61万冊を蔵書しています。視聴覚資料も整備され、音楽・語学用のテープ、CDやビデオを、専用ブースで楽しめます。また、同館2階には、国際関係学部の研究者らが研究の一環として集めた国際色豊かな資料を展示する「民族資料博物館」もあります。保護者の皆さまにもご利用いただけます。



附属三浦記念図書館



民族資料博物館

## 新穂高山荘

### 四季折々の魅力を満喫できます。

新穂高山荘は、新穂高温泉郷のほぼ中央に位置する絶好のロケーションが魅力です。スケールの大きい雄大な山岳美と新緑・紅葉の美しさは、まさに自然の宝庫。溪流にそった16,000m<sup>2</sup>の敷地には、24時間利用可能な石造りの露天風呂を備えた温泉施設もあります。学生、教職員、卒業生とご家族の厚生施設として利用され、もちろん在学生のご家族もご利用いただけます。お申込みは後援会事務局まで。



## 中部大学音楽祭

### 年に一度のチャリティーコンサート。

第8回目を数えた2011年度の中部大学音楽祭は、東日本大震災チャリティーコンサートとして、名古屋市青少年文化センター/アートピアホールでおこなわれました。前回に続いて今回もオープニングでチアリーダー部が演舞を披露。続いて、本学の5つの音楽系クラブが、日頃の練習の成果を思う存分発揮しました。次回の音楽祭は、平成24年12月1日(土)に開催の予定です。詳細は、決定次第ホームページで公開いたします。



## オープンカレッジ

### オープンカレッジ聴講生募集。

地域の皆さまに大学の講義をオープンカレッジとして開放しています。その数、約150科目。中部大学の選りすぐりの講義を大学生と一緒に受講してみませんか?学生食堂や図書館、駐車場、スクールバスも利用いただけます。

講義期間	春学期:4月~7月 秋学期:9月~2月
講義回数	週1回(約4ヵ月間)15~16回
聴講料	1科目10,000円 (後援会会員とその配偶者の方は5,000円となります)
登録料	5,000円(初回のみ) ※後援会会員の方は無料となります。
お問い合わせ	Eメールまたはお電話にてお問い合わせください。 E-mail:ext@chubu.ac.jp <エクステンションセンター> <b>TEL.0568-51-4392</b> (直通)
	中部大学 エクステンション 公開講座 <input type="button" value="検索"/>





ひたむきに学ぶ姿、はじける笑顔。  
夢の実現に向けて全力で走り続ける  
4年間のキャンパスライフ。







# MY CAMPUS LIFE





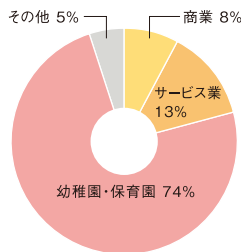
## 現代教育学部が初めて卒業生を輩出。

今年3月に初めての卒業生を社会に送り出し、そのうち約60名は、保育・教育現場(保育園・幼稚園・小学校・特別支援学校)で活躍しています。また、児童教育学科の2012年度入学生からは、従来の小学校・特別支援学校の免許状に加え、中学校教諭一種免許状(理科)も取得できるようになりました。

### 幼稚・保育園教員

28名

(幼児教育学科就職状況)  
就職内定率※100%

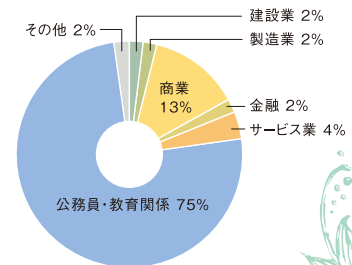


### 小学校教員

(特別支援学校含む)

31名

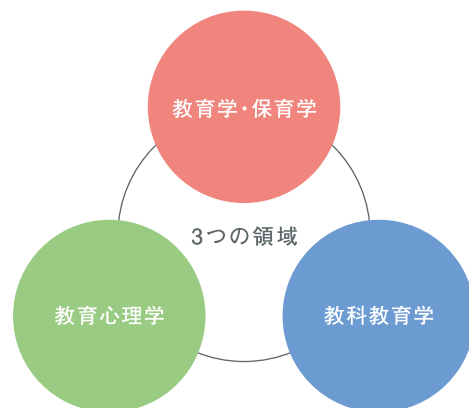
(児童教育学科就職状況)  
就職内定率※98.1%



※就職希望者に対する就職者の割合

## 大学院教育学研究科がスタート。

平成24年4月に、中部大学6番目の大学院として「教育学研究科教育学専攻(修士課程)」がスタートしました。教育学研究科は、「教育学・保育学」、「教育心理学」、「教科教育学」の3つの領域を基盤とし、基幹科目として11科目、専門科目として12科目を配置。これらの科目を通じて、研究的実践者としての幼稚園・小学校教員並びに高度専門職業人としての指導的な保育士を育成するとともに、教育学研究を次世代に継承する教員及び研究を目指す大学院生を育成することを目標としています。



## 中部大学が“スマートエコキャンパス”に。

2012年7月2日より、キャンパススマートグリッドを導入し、学部単位による多棟間エネルギーマネジメントを清水建設と共同実証。キャンパスのエネルギー費の削減、電力インフラ容量の逼迫に対処するピーク電力量の削減、また学生の環境に対する意識の啓発や教育、エネルギーのスマート利用に関する研究などを目的に、中部大学は“スマートエコキャンパス”として新たなスタートを切りました。今後は学部ごとに展開し、将来的にはキャンパス全体のエネルギーマネジメントをおこなう予定です。学部を街区、キャンパスを都市と見立てることで、日本初のスマートコミュニティ実証モデルを目指します。

※スマートグリッドとは…電力の供給と需要を把握し、最適化を図るシステム。



（学内ホームページで電力使用量などを閲覧することができます。）

### キャンパス内の環境関連の主な取り組み（抜粋）

本学では、環境保全のために先進システムを積極的に導入し、さまざまな取り組みをおこなっています。



太陽熱温水器



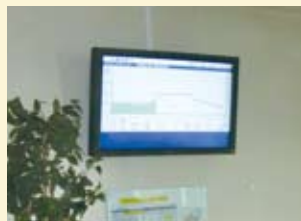
6号館/太陽光発電



雨水散水設備



超伝導送電実験設備



電力見える化モニター



総合情報センター/外壁緑化



# Campus Map

- 1 1号館〈本部棟／事務室／教務部／学生部〉
- 2 2号館〈事務室／研究室／講義室／ゼミ室／キャリアセンター／エクステンションセンター／渉外部〉
- 3 3号館〈生産技術開発センター／分析計測施設／実験室〉
- 4 5号館〈研究室／実験室／ゼミ室〉
- 5 新5号館〈メディア教育センター／実験室／講義室〉
- 6 6号館〈研究室／講義室／実験室／ゼミ室〉
- 7 7号館〈工学センター棟／工学部事務室／研究室／ゼミ室〉
- 8 8号館〈CAD教育施設／実験室／実習室〉
- 9 9号館〈保健管理室／講義室／研究室／学生ラウンジ／教職支援センター／学習支援室〉
- 10 10号館〈コンピュータサポートデスク／講義室／ゼミ室／学生ラウンジ〉
- 11 11号館〈研究室／実験室／講義室〉
- 15 15号館〈講義室〉
- 16 16号館〈総合研究センター〉
- 17 17号館〈研究室／実験室〉
- 18 18号館〈材料構造実験施設〉
- 19 19号館〈語学センター／建築製図室／第2学生ホール／講義室／学生ラウンジ〉
- 20 20号館〈国際関係学部事務室／研究室／ゼミ室／学生ラウンジ／日本語教育センター／語学センター〉
- 21 21号館〈経営情報学部事務室／研究室／講義室／ゼミ室／学生ホール〉
- 22 22号館〈講義室／総合情報センター〉
- 24 24号館〈総合情報センター〉
- 25 25号館〈人文学部事務室／講義室〉
- 26 26号館〈研究室／ゼミ室〉
- 27 27号館〈メディア教育センター・スタジオ／講義室〉
- 28 28号館〈講義室／実験室〉
- 29 29号館〈クラブ・サークルプラザ／体育・文化センター事務室〉
- 30 30号館〈応用生物学部事務室／研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- 31 31号館〈研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- 32 32号館〈実験室〉
- 33 33号館〈研究室／実験室／実習室〉
- 36 36号館〈実験室／実習室〉
- 50 50号館〈生命健康科学部事務室／研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- 51 51号館〈講義室／ゼミ室／実習室／学生ホール〉
- 52 52号館〈講義室／研究室／実習室／多目的室〉
- 53 53号館〈実験動物教育研究センター〉
- 55 55号館〈講義室／研究室／実験室／実習室〉
- 70 70号館〈現代教育学部事務室／研究室／ゼミ室／講義室〉
- 71 71号館〈講義室／実習室／器楽演奏室／多目的室〉
- 72 72号館〈講義室／実習室〉



- A 三浦幸平メモリアルホール
- G 体育・文化センター
- M 女子留学生寮
- S 武道体育館
- B キャンパスプラザ
- H 体育館・講堂
- N 職員宿舎
- T 第3学生ホール
- C 第1学生ホール
- I サブアリーナ
- O 三幸橋
- U フロントピア研究棟
- D 附属三浦記念図書館
- J 高電圧実験室
- P 弓道場
- V 温室棟
- E リサーチセンター
- K 学生寮／留学生寮
- Q 洞雲亭／工法庵／燭柯軒
- W リサ農園
- F 創立者胸像
- L 留学生寮
- R 野外ステージ

## テレフォンガイド 中部大学／代表番号 0568-51-1111 総合相談コーナー 0568-51-6417

お問い合わせ内容	担当部署
後援会について	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 後援会事務局(渉外部) 0568-51-4745(直通)</li> </ul>
成績・学業に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 教務課</li> </ul>
学生生活について	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 学生課</li> </ul>
就職について	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 学生相談室 0568-51-9843(直通)</li> <li>▶ キャリアセンター 0568-51-4184(直通)</li> </ul>
学費・その他の納付金について	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 会計課</li> </ul>
入学試験について	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 広報課 入試課 ※入試情報ホットライン 0120-873941(直通)</li> </ul>
国際交流(留学)について	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 国際交流センター 0568-51-4694(直通)</li> </ul>
生涯学習に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ エクステンションセンター 0568-51-4392(直通)</li> </ul>
中部大学音楽祭・キャンパスコンサートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 渉外部 0568-51-5250(直通)</li> </ul>

中部大学ホームページもご利用ください。 <http://www.chubu.ac.jp/>

### 住所変更について

住居移転、町名変更などによって住所に変更があった場合、学生課への届け出が必要となります。お手数ですが、ご子息・ご息女に学生課までお越しくださるようご連絡をお願いいたします。

### 中部大学後援会就職活動援助

後援会では、資格取得講座、就職対策講座の受講料・受験料の補助をしております。ご子息・ご息女の就職活動のスキルアップや将来設計に、ぜひ受講をおすすめください。